

## 電子入札コアシステム事業改善方針

### 1. 背景・経緯

#### (1) JACIC の使命

JACIC は、情報通信技術 ICT を活用し、社会資本の一連のプロセスである調査・計画・調達・施工・管理全体の生産性向上と社会資本サービスの向上を目指した事業を展開している。

財団が対象とする建設情報の特徴は、

- ①社会資本のライフサイクルが長く、関連の建設情報の管理が難しい。
- ②多くのフェーズに分断されて、情報の連携が難しい。
- ③生産に係わる関係者が多く、情報共有が難しい。

このため、建設分野の情報化推進に当たっては、時間的・空間的・主体的な一元性、共通化、統一化が不可欠であり、財団の開発、運用するシステムは、全体として一体的な運用、長期かつ継続的に安定的な運用が求められている。

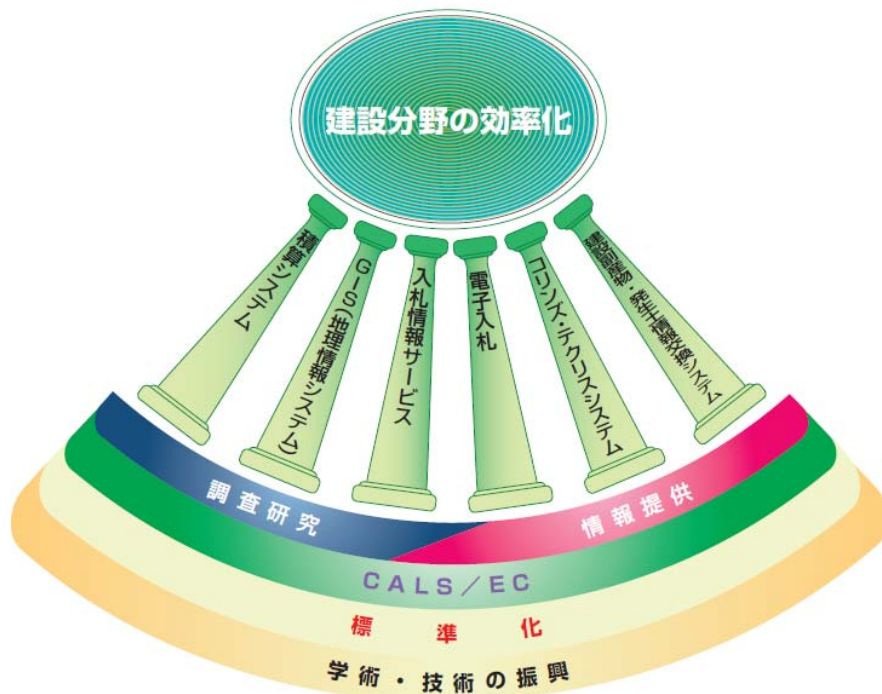


図 1-1 JACIC の事業

## (2) 電子入札コアシステム事業の目的

入札行為は、行政の政策目的を達成する上で必要不可欠なものであり、その執行を電子的に行う電子入札では以下のものが求められている。

- 1) 入札契約の過程の透明性の確保
- 2) 公平な競争環境の確保

電子入札システムは、インターネットを利用することで、競争参加資格を有する者は発注機関に直接出向かなくても、公共工事の入札に参加可能となり、参加者数の増加が見込まれ、競争性が高まる。

- 3) 事務コストの縮減

電子入札システムにより、これまで入札手続きに必要なだった書類が不要となり、ペーパーレス化が進むなど事務の簡素化及び入札に係る費用の縮減を図るとともに、入札に参加する民間企業においても、移動コストの縮減及び事務処理の迅速化が図られる。

- 4) 談合等不正行為の排除に寄与

電子入札システムにより、入札参加者が一堂に会する機会をなくすことから、談合等不正行為の防止にも寄与。

## (3) 事業仕分けに関わる経緯

- 1) 事業仕分け

平成 22 年 5 月 21 日に実施された。行政刷新会議「事業仕分け」に「電子入札システムの運営管理」が仕分け対象事業となり、評価を受けた。

- 2) 評価結果

【国の関与を強化した上で、実施機関を競争的に決定（競争によるコスト削減を図る）】

- 3) 「国の関与を強化」への対応

監督官庁（国）だけでなく利用者である国、地方公共団体等の発注者および民間企業等の受注者の意見・要望を幅広く拝聴し事業の改善方針に反映していく。このため、電子入札コアシステム利用者会議を設置するとともに利用者アンケートを実施した。

※：「実施機関を競争的に決定」については、発注者である国において検討中と聞いている。

## (4) 電子入札コアシステム利用者会議

- 1) 目的

電子入札コアシステム利用者会議は、電子入札コアシステム事業に関する利用者の意見・要望を把握することを目的とする。

- 2) 会議の活動

会議を定期的に行い、以下の活動を行う。

- (1) 事業に関する利用者の意見・要望を拝聴する。
- (2) 上記の意見・要望をふまえて財団が作成する事業の改善方針案を説明する。
- (3) 上記の改善方針案に関する利用者の意見を拝聴する。

- 3) 会議の参加者

会議は以下の参加者で構成されている。

- (1) 事業を利用している発注者

- 1) 国の機関 (7 機関)
- 2) 独立行政法人等 (21 機関)
- 3) 都道府県・政令市 (地方別代表者：17 機関)
- 4) 市区町村 (地方別代表者：9 機関)
- (2) 事業を利用している受注者 (入札参加者) の団体
  - 1) (社) 日本土木工業協会
  - 2) (社) 全国建設業協会
  - 3) (社) 建設コンサルタント協会
  - 4) (社) 全国測量設計業協会連合会
  - 5) (社) 全国地質調査業協会連合会
  - 6) (社) 日本補償コンサルタント協会
- (3) 理事長が必要と認める学識者等
  - 1) 座長を含め学識者 3 名
- 4) 会議の運営
 

会議は、年 1 回以上、必要に応じて招集・開催し、利用者の意見・要望を拝聴する。  
また、アンケートで回答のあった利用者の意見・要望も同様に扱う。
- 5) 事務局
 

会議の事務局を財団経営企画部に置く。

(5) 会議等の経緯

会議等の経緯を表 1-1 に示す。

表 1-1 会議等の経緯

時 期	会 議 等
5 月 2 1 日	事業仕分け (対象：電子入札コアシステム)
9 月 1 7 日	電子入札コアシステム利用者会議設置
9 月 2 9 日 ～ 1 0 月 1 5 日	電子入札コアシステム利用者アンケート実施
1 0 月 4 日	電子入札コアシステム利用者会議開催
1 2 月 1 7 日	電子入札コアシステム利用者会議開催

## 2. 利用者会議におけるご意見・ご要望

### 1) 発注機関

国の機関	重要なシステムであり、発注者受注者の意見を聞く機会は歓迎である。
	処理速度向上、障害時の危機管理の充実を要望する。
	システムの改良も必要であり、将来を見据えた予算の確保、計画的な改良の実施を要望する。
	システムの改良の際に、アンケート結果を分析し入札参加者の意見も取り入れることが必要である。
	コアシステムの機能向上により、現在ユーザが独自開発しているコストの軽減を図ってほしい。
	運営管理費にかかる経費と料金体系の透明性、適正化を要望する。
地方公共団体	事業仕分けでは国の関与の強化という結果であるものの、引き続き地方の意見を十分聞いていただきたい。
	利用者会議とユーザ会議の位置づけを明確にし、地方に負担がかからないようにしてほしい。
	保守管理費についての具体的な用途の説明と、利用者増加に伴う価格の適正化を検討してほしい。
	使用料の低減を検討されたい。小規模団体向けに割安の価格設定とされているが、更に年間 350 件以内一律ではなく料金区分の細部化も含め、実質的な低減を検討されたい。
	サブシステムとして、入札情報公開システム（国・都道府県等の入札結果情報等、結果集計等）のシステムの作成を検討されたい。
	買い取り、保守料金ともに透明性を高めてほしい。
	総合評価方式への対応・充実を検討されたい。
	暗号アルゴリズム変更対応について、予算措置の要否も含めなるべく早く情報を提供してほしい。
	現在の JACIC が主体となって行っている方式が望ましい。国の関与が強くなりすぎることはコアシステムの中立性が損なわれるので、現在の運営方式が良いと思う。
	コアシステムをベースにして、各自治体の実情を考慮したカスタマイズ部を加えられる自由度を確保できることが望ましい。
	収支の透明性を高めて、可能であれば利用料金を下げていただければありがたい。
	WINDOWS7 への対応の遅れがあるので、迅速に対応するようにお願いしたい。

地方公共団体	<p>コアシステムの著作権を国が持つことは避けるべき。全国共通の基盤システムであるコアシステムの意義が失われてしまう。</p>
	<p>最近のヘルプデスクの問い合わせ内で、Yahoo や Google などの各種ツールバーの問い合わせが非常に多いので非常に困っています。回答としては基本的に削除をしてもらっていますが、各種ツールバーは JRE や Acrobat などのオプションとして追加インストールされてしまうこともあるので、削除した場合でも再度問い合わせが来てしまうことがあります。問い合わせを減らすため、電子入札の初期画面で設定が行われているかどうかのチェックを行う機能を追加することはできませんか。できない場合は、表示されるエラーメッセージに日本語でエラーメッセージを表記できるようなカスタマイズ機能を追加できませんか。</p>
	<p>ミドルウェアなどの設定やチューニングについて、設定例まででもいいので問い合わせサービスでサポートして欲しい。</p>
	<p>特に不満はないが、今後も多彩な入札に対応できるように努めてほしい。</p>
	<p>発注者側の環境が影響しているかもしれませんが、入札参加数が多いと処理速度が極端に遅くなります。改善することは可能でしょうか。</p>
	<p>少しでも安価に利用できるように努めてほしい。</p>
	<p>地方自治体が利用するには、多額の費用を要すると思われるので料金設定には特段の配慮をお願いしたい。</p>
	<p>指名競争入札の機能を強化してほしい → 指名通知書作成・発行業務等の使い勝手をよくしてほしい</p>
	<p>新 OS 等への対応を迅速に行ってほしい → 新発売の OS への対応に時間がかかっている、利用者はバージョンを落として利用しなくてはいけない</p>
	<p>添付ファイルの容量を増やしてほしい → 現在 1 MB のため容量が不足している</p>
	<p>OS, ブラウザのバージョンアップへの対応を迅速に。</p>
	<p>利用者の要望を聞く機会として年 1 回のユーザ会議では時期等を失するので、いつでも要望できるものを作ってもらいたい。(他の利用者の声も知りたい。)</p>
	<p>コアシステムの性能に関して、OS やブラウザ等のバージョンに依存しないシステム作りをお願いしたい。とりわけ JRE に関連する問題(アップデートへの対応、他システムとの整合性、セキュリティ問題、クライアントセットアップの煩雑性等)が多いため、JRE のバージョン、リビジョンに影響を受けない又は Java を使用しないシステム作りをお願いしたい。</p>

地方公共団体	<p>今後のシステムのメンテナンスやアップデートについても対応が遅いため、迅速かつ確実に行っていただきたい。</p>
	<p>事業仕分けの影響で、LGPKI 側の Windows7・IE8 への対応自体・事業主体が未決定とのことであるが、既に多くの団体がコアシステムを基幹システムの一つとして採用していることを鑑み、今後の検討で事業主体がいずれになっても迅速かつ確実に今年度中にはリリースを行っていただきたい。</p>
	<p>市町村の場合は、都道府県や政令指定都市に比べて割安な保守料に抑えられているものと認識しておりますが、昨今の厳しい財政状況もありますのでよろしくご検討方お願いいたします。</p>
	<p>毎年のユーザ会議や地方会議等の場で要望の聴き取りや意見交換がなされていますが、当市規模の市町村の場合システム運用等に係わる専門知識が不足しており限られた機会の中で十分な意見等を伝えるには限界があるのが現状であります。システムを構築したベンダーとは日常的に協議や情報交換を行っており、独自機能を含めた全体システムを熟知していることから、当該団体特有の意見・要望・照会をベンダー経由で行うことができれば、専門知識も付加されることでより正確に伝わることとなり、利用団体にとっても迅速かつ確かな機能向上につながるものと考えます。つきましては、利用団体からの意見・要望・照会等をベンダー経由でも日常的かつ積極的に吸い上げるルールやルートについてご検討いただけるよう要望します。（現在でもコンソーシアムを通じてベンダーの意見が反映されていることは承知しておりますが、もう一步踏み込んで個別の事情を随時連絡できる体制があればと考えております。）</p>
	<p>暗号アルゴリズムの移行対応について、対応スケジュール・利用者側の対応の必要性・経費負担等があるか否か、あるならば早期に情報提供をしていただきたい。</p>
	<p>利用団体数が毎年増加していることから、各団体に対する技術サポート等に要する費用を除いた保守料部分（機能拡充やバージョンアップ等への対応）については、一種の固定費として利用団体当たりの負担額の逡減が可能ではないかと思慮するところです。貴センターにおかれましては、年々増収となる保守料の運用方法について透明化を図りながら、可能な範囲で料金設定にもご配慮いただけるよう要望いたします。</p>
	<p>今後とも利用者会議、アンケートを継続し、より使い勝手のいいシステムにしてほしい。</p>
独立行政法人等	<p>工事・業務の機能を物品・役務でも利用可能とし、使い勝手を改良してほしい。</p>
	<p>札入れが証明書の提出期限後でないとできない仕様を、証明書提出後にスケジュール修正可能とできないか。</p>

2) 受注者（入札参加者）

業界団体	<p>入札行為関連の事務の効率化。入札に関する透明性・入札行為の経費低減や多くの発注機関の共通化により手続きが標準化・簡素化され、その効果は大きいと認識しています。</p>
	<p>入札に参加する企業としては、ICカード・リーダー/ライタの整備費・維持費もわずかでシステムの効果と比較すると問題はないと言えます。</p>
	<p>電子入札コアシステムを利用する発注機関・自治体に関しての費用負担や運用面については、私ども業界で意見を述べる内容ではありません。</p>
	<p>コアシステムの著作権先・効率化のインセンティブなどについても、私ども業界で意見を述べる内容ではありません。</p>
	<p>電子入札システムの操作面での簡易さなどは今後改良していけるものと認識しています。</p>
	<p>今後もシステムの改善・改良により入札行為の事務の効率化。入札に関する透明性、入札行為の経費低減の効果に大きく期待しております。</p>
	<p>電子入札は必要不可欠なシステムである。</p>
	<p>社長交代時等に新しい認証カードへの切替までの2, 3週間は紙入札になる。運用で回避できないか。</p>
	<p>要請書の質問に対する回答がいつ掲示されるかわからない。業者選定通知と同様にメールで通知してほしい。</p>
	<p>要請書に対する質問をシステム上で行った場合、回答もシステム上でなされますが、指名通知のような到着メールがセンターから配信されないため、いつ掲載されたのかが分からず、何度も閲覧する手間が生じているので、メール通知してほしい。</p>
	<p>入札金額の入力ミスが生じないように努力しているが、ミスの恐れは残る。入力者の精神的負担が大きいため、入札金額の入力ミスに気がついた場合は、一定の条件下で再提出ボタンを設けるなどして、訂正または入札を辞退できる機能を追加してほしい。</p>
	<p>総合評価落札方式において、入札締切りの前に、技術提案書を提出する場合、システム上で提出できないため、メールや郵送にて提出することになるが、システム上で提出できるよう機能を追加してほしい。</p>
	<p>国に関しては特になし。自治体は遅いと感じる。</p>
<p>市や住宅公社の電子入札システムが、コアシステムでないため、個別にパソコンを用意し、対応している。統一が望ましい。</p>	

業界団体	<p>現行の運用時間（9:00～18:00）を拡大してほしい。（ある機関では、月曜日から木曜日は22時まで利用できる。）</p>
	<p>代表者交替、住所変更などによって取得済みICカードが失効します。再取得までの間に発生する紙入札期間の解消をお願いしたい。または、運用で回避できるか、確認したい。</p>
	<p>発注機関・事務所毎に異なる運用ルール（添付ファイル容量、指名の際のFAXのやり取り、再入札の対応など）を統一していただきたい。（例えば、添付ファイルについて、ある機関では、技術提案書は3MBまで添付できる。別の機関では、1MBまでになっている。）</p>
	<p>発注機関毎にパソコンの設定条件が異なる場合があるので、パソコンの入替時や保守に苦労している。</p>
	<p>また、共存できない電子入札システムの場合、パソコンの台数が増える傾向にあり、コスト縮減に苦労している。</p>
	<p>運用の改善をお願いしたい（入札書提出がその日だけの機関がある）</p>
	<p>指名通知を取り出す時間が限定されているため、時間を過ぎると取り出せなくなってしまう⇒8:30～10:00)</p>
	<p>参加表明書など添付して提出する書類に代表者名の押印を求められる。電子で提出の場合はICカードで本人確認が取れており、不要と思われる。現在、ある機関は不要、別の機関は要という運用になっており、軽減する方向で統一をお願いしたい。</p>
	<p>案件ごとの委任状ではなく、年間委任状での了解をお願いしたい。ある機関は年間委任状でOKであるが、別の機関は認められていない。</p>
	<p>発注者が電子入札として採用するシステムについては、発注者が決定すべきものであり、建設企業が言及すべき事項ではない。</p>
<p>昨今の建設関連業では支店長の移動などが多いですが、その度にカードの更新が生じる。この更新に関して改善をお願いしたい。</p>	

### 3. 電子入札コアシステムアンケート結果

#### (1) 発注機関

##### 1) 実施要領

電子入札システムを利用している公共発注機関を対象にWebで回答いただく方式のアンケート調査を9月29日(水)に直接メールで依頼し、10月15日(金)を回答期限としてご協力をお願いした。

##### 2) アンケート内容(それぞれ250字以内の自由記述方式)

###### 設問1 コアシステムの機能、操作性について

【コアシステムの機能等についてお聞きします。皆様のご要望を受け新たな機能として事後審査型入札方式を追加し操作においても表示画面の統一を図っています。これ以外も含め機能、操作性についてご意見、ご要望がございましたらご回答ください。】

###### 設問2 コアシステムの性能について(処理速度等)

【コアシステムの性能についてお聞きします。処理速度等についてご意見、ご要望がございましたらご回答ください。】

###### 設問3 コアシステムの料金について(料金水準、料金体系等)

【コアシステムの料金についてお聞きします。料金水準、料金体系についてご意見、ご要望がございましたらご回答ください。】

###### 設問4 コアシステムの運営について(運営時間やサービスセンタの対応等)

【コアシステムの運営についてお聞きします。サービスセンタの問い合わせ対応等についてご意見、ご要望がございましたらご回答ください。】

###### 設問5 自由意見(その他、ご意見、ご要望)

【その他、ご意見、ご要望がございましたらご自由にご記入ください。】

#### 3) 回答結果

127機関(契約団体)にアンケート協力依頼をお願いしたところ89機関(70.1%)からの回答をいただいた。また、国土交通省内部27機関及び都道府県等の共同利用の主体機関から転送いただいた共同利用参加の72機関からの回答があり、合計188機関からの回答となっている。今回得られた記述内容について、概ね次ページ以下のように整理した。

発注機関等	依頼数	回答数
国の機関	8	4
独立行政法人等	15	10
都道府県・政令市	59	48
市長村等	45	27
国土交通省内部機関	※	27
その他(共同利用参加等)	※	72
総数	127	188

※国土交通省内部機関、共同利用参加機関については国土交通省及び共同利用主体からの転送

### 設問1 システムの機能について

設問1については、188件の回答のうち106件で回答をいただいた。機能面については、操作性向上（21件：11%）や画面表示の工夫（20件：10%）、質問回答機能の強化（17件：9%）等が上位に位置づけられた。

図3-1 設問1 回答分類図

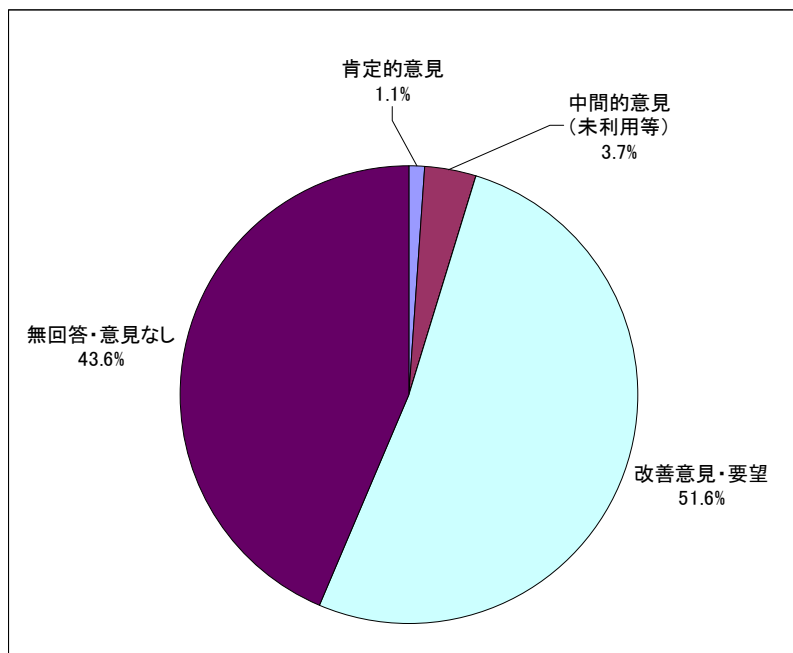
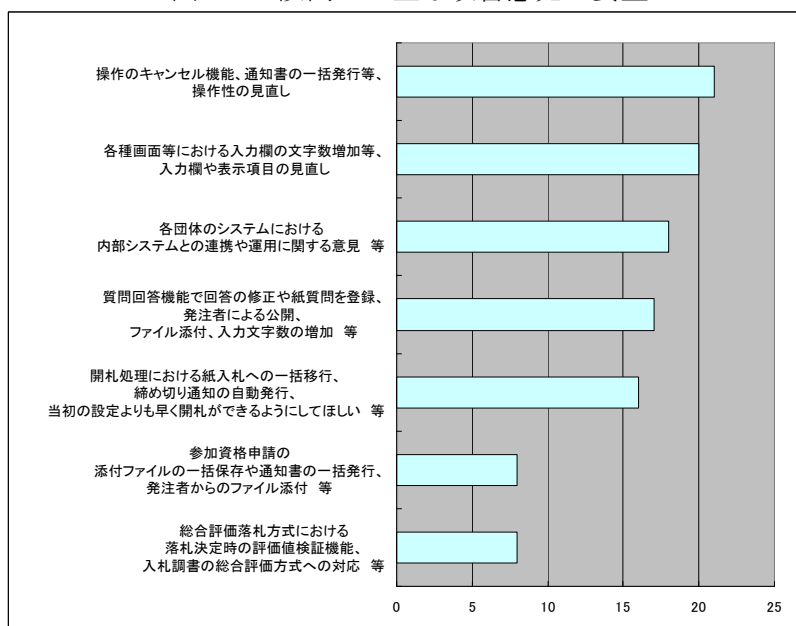


図3-2 設問1 主な改善意見・要望



## 設問 2 システムの性能について

設問 2 については、188 件の回答のうち 117 件で回答をいただいた。性能面については、処理やサーバ接続、認証・署名等、速度に対する不満等が大半となっている。また、少数ではあるが紙入札との併用で時間を要しているとの意見もあった。

図 3-3 設問 2 回答分類図

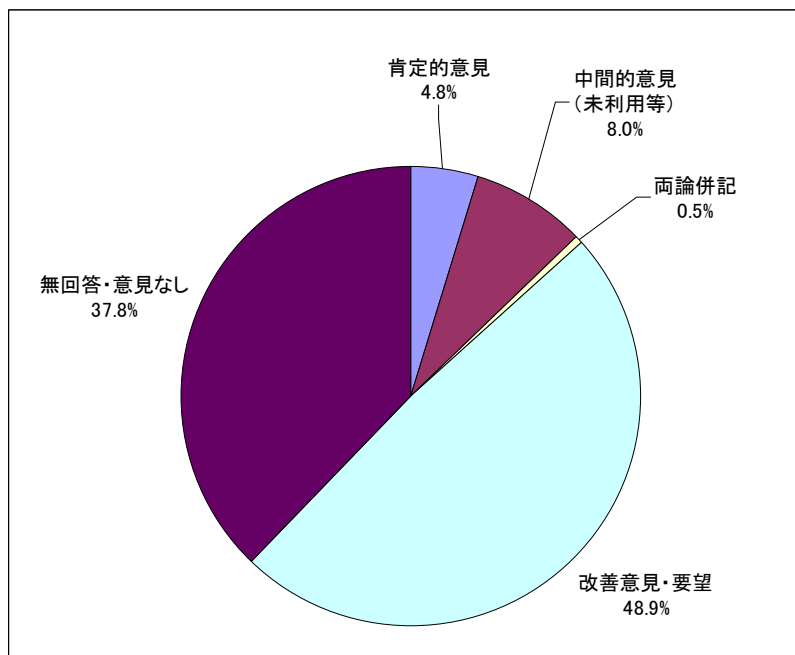
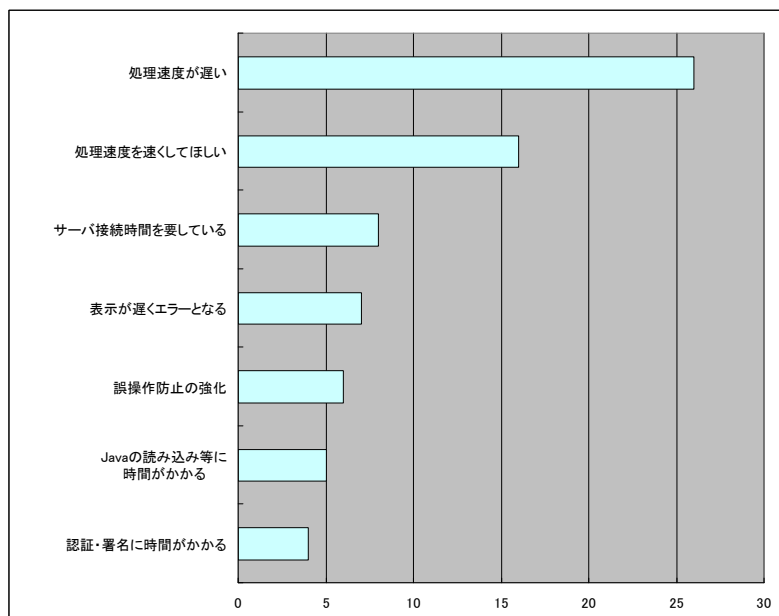


図 3-4 設問 2 主な改善意見・要望



### 設問3 利用料金について

設問3については、188件の回答のうち78件で回答をいただいた。料金については、保守料の引下げ（11件：6%）や料金の透明化（9件：5%）、高い等（9件：5%）、料金の不満や見直しの意見が多かった。

一方、値下げにともなうサービス低下を危惧する意見もあった。

図3-5 設問3 回答分類図

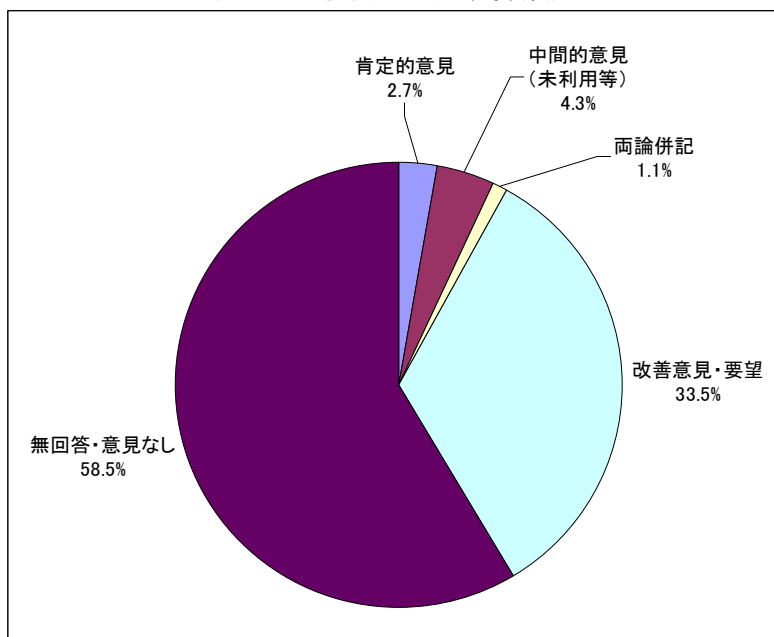
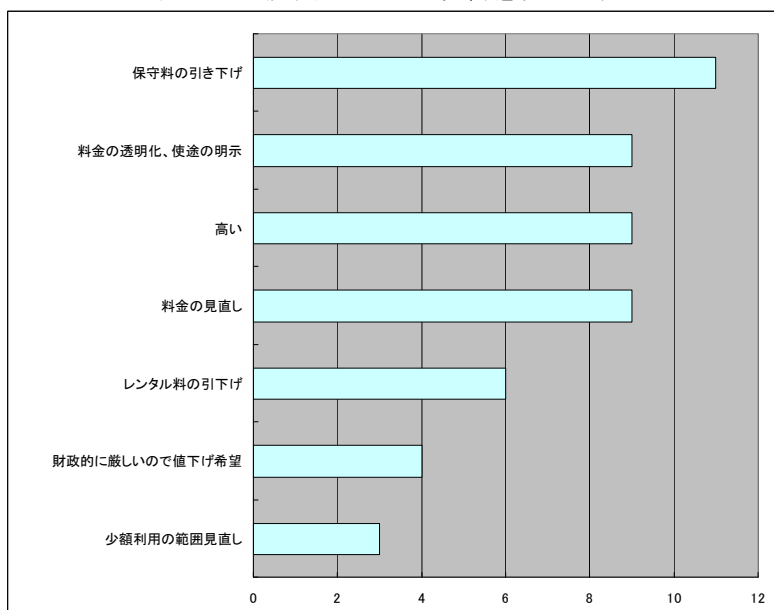


図3-6 設問3 主な改善意見・要望



**設問4 システムの運用について**

設問4については、188件の回答のうち47件で回答をいただいた。  
 サービスセンタの運営にあたっては、少数ではあるが回答が遅い、回答予定や進捗状況を報告してほしい等の問合せ対応に対する意見があった。

図 3-7 設問4 回答分類図

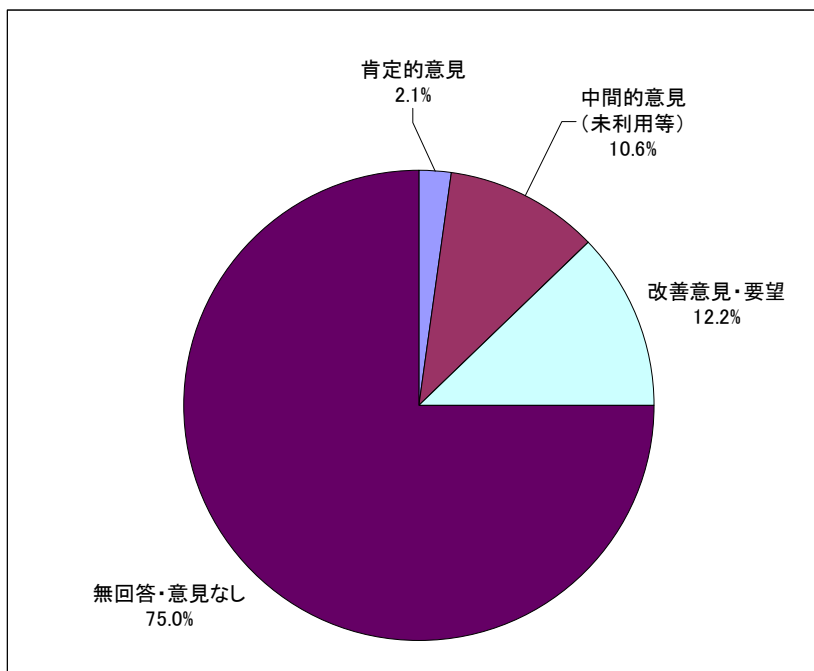
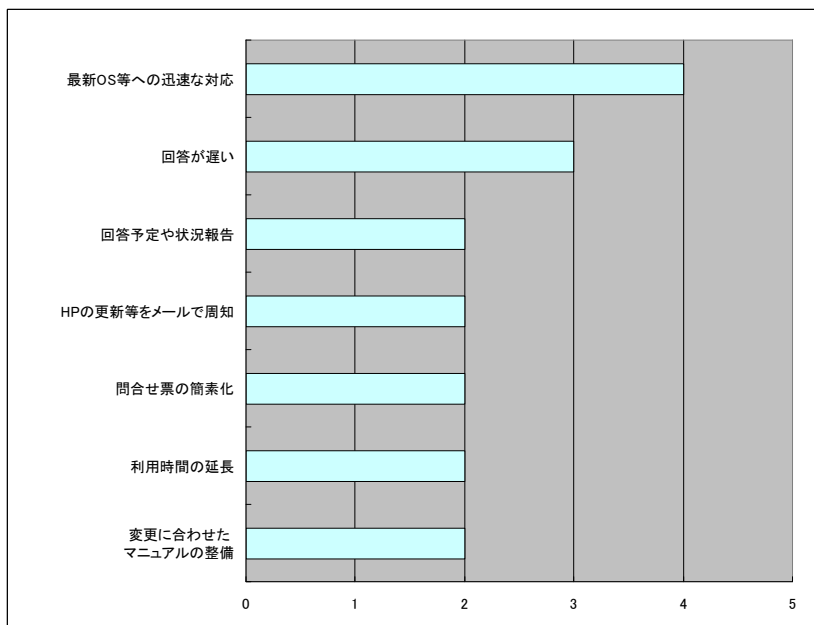


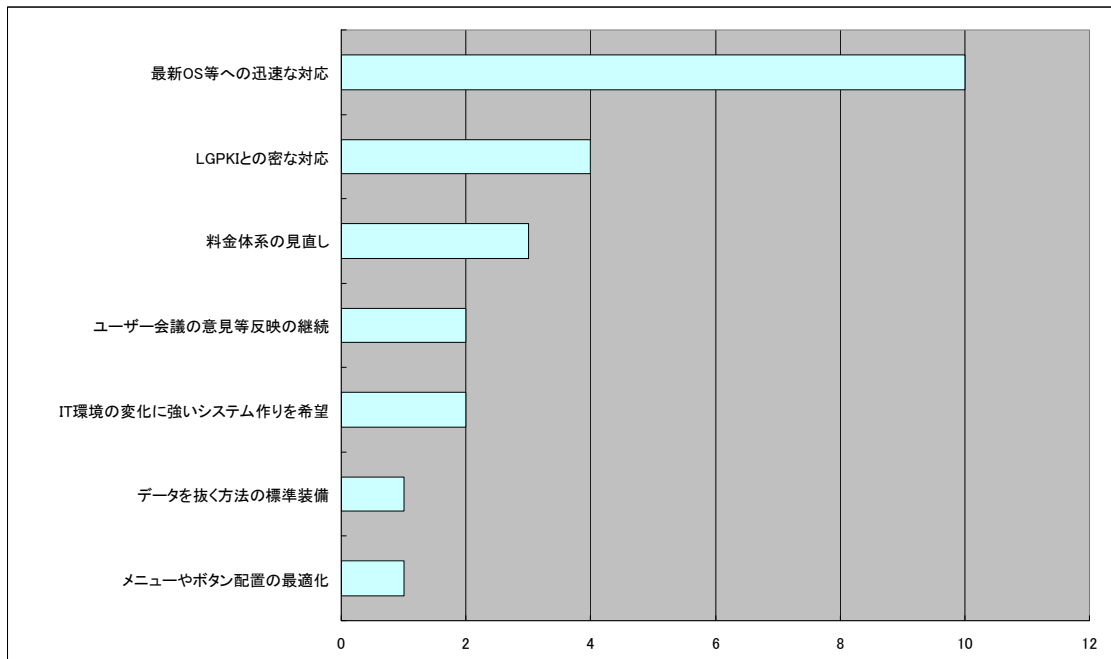
図 3-8 設問4 主な改善意見・要望



### 設問5 自由意見について

188件の回答のうちの47件で自由意見をいただいた。主なご意見は以下のとおりであった。

図 3-9 設問5 主な自由意見



## (2) 受注者（入札参加者）

### 1) 実施要領

電子入札コアシステムに関する受注者（入札参加者）からの意見収集を行うため、Web形式のアンケート調査依頼を9月29日（水）から10月15日（金）の期間で実施した。

受注者（入札参加者）に対するアンケートの案内は、コリンズ・テクリスのアンケート案内と同時にしている。なお、本アンケートは、上記の期間JACICのホームページにて広く一般に公開し、記名式とすることで誰でも回答ができるものとなっていた。

### 2) アンケート内容（それぞれ250字以内の自由記述方式）

設問1 電子入札で入札を行っている発注機関について

【電子入札で入札を行っている主な発注機関名をご記入下さい。（複数可）】

設問2 電子入札システムの機能について

【ご利用の電子入札システムの機能等についてお聞きします。機能、操作性についてご意見、ご要望がございましたらご回答ください。】

設問3 電子入札システムの性能について（処理速度等）

【ご利用の電子入札システムの性能についてお聞きします。処理速度等についてご意見、ご要望がございましたらご回答ください。】

設問4 電子入札システムの利用時間について

【ご利用の電子入札システムでの入札作業、送信のために利用されている主な時間帯（24時間単位）についてご回答ください。また、ご意見、ご要望がございましたらご回答ください。】

設問5 電子入札システムの効果について（経費節減等）

【ご利用の電子入札に参加した場合の旅費や人件費等の経費の増・節減効果等について回答願います。またご意見、ご要望がございましたらご回答ください。】

設問6 自由意見（その他、ご意見、ご要望

【その他、ご意見、ご要望がございましたらご自由にご記入ください。】

### 3) 回答結果

本アンケートには、受注者（入札参加者）472社から回答をいただいた。

受注者（入札参加者）からの意見については、各発注機関が運用している電子入札システムに対するものとしてとらえ、これらの意見・要望をコアシステム利用中の発注機関に伝えるものとする。

なお、設問1については、今後の参考にさせていただくこととし、本集計には含めない。今回得られた回答内容について、概ね次ページ以下のように整理した。

## 設問2 電子入札システムの機能について

設問2については、472件の回答のうち258件で回答をいただいた。機能面については、添付ファイルの容量拡大（29件：6%）や検索機能の充実（20件：4%）、新OSやブラウザ等への早急な対応（19件：4%）等が上位に位置づけられた。

図3-10 設問2 回答分類図

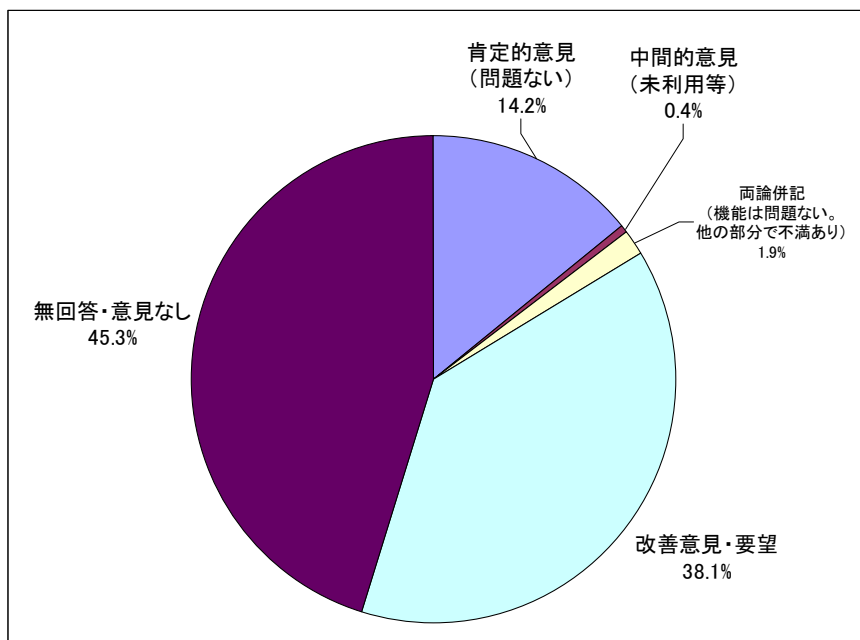
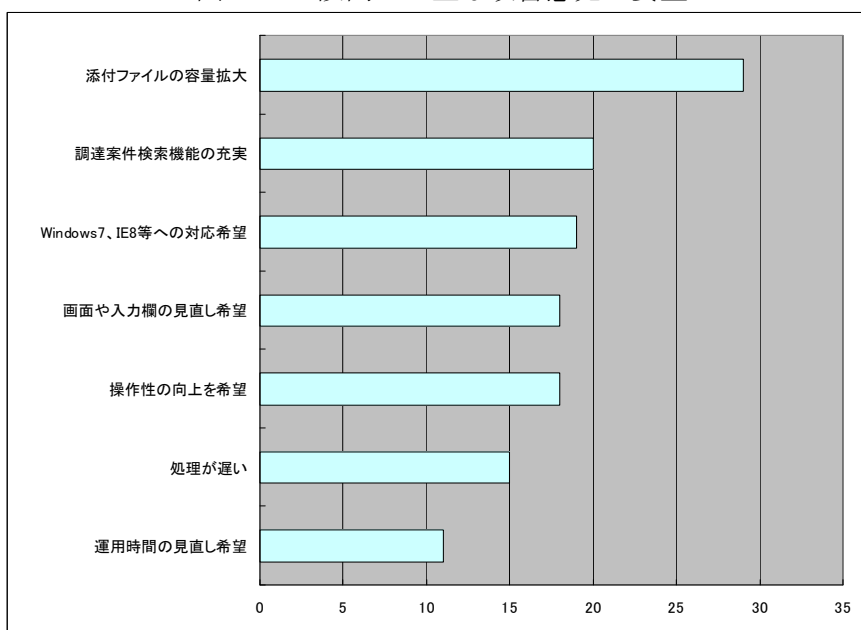


図3-11 設問2 主な改善意見・要望



### 設問3 電子入札システムの性能について

設問3については、472件の回答のうち305件で回答をいただいた。性能面については、処理や立ち上げに時間がかかる、反応が遅い、遅い等、速度に対する不満が多かった。

図 3-12 設問3 回答分類図

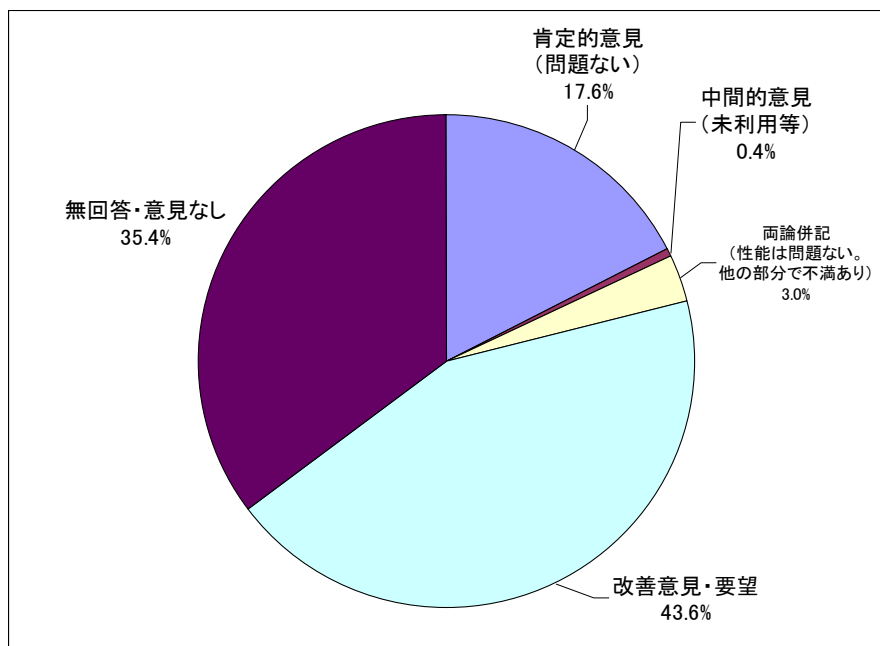
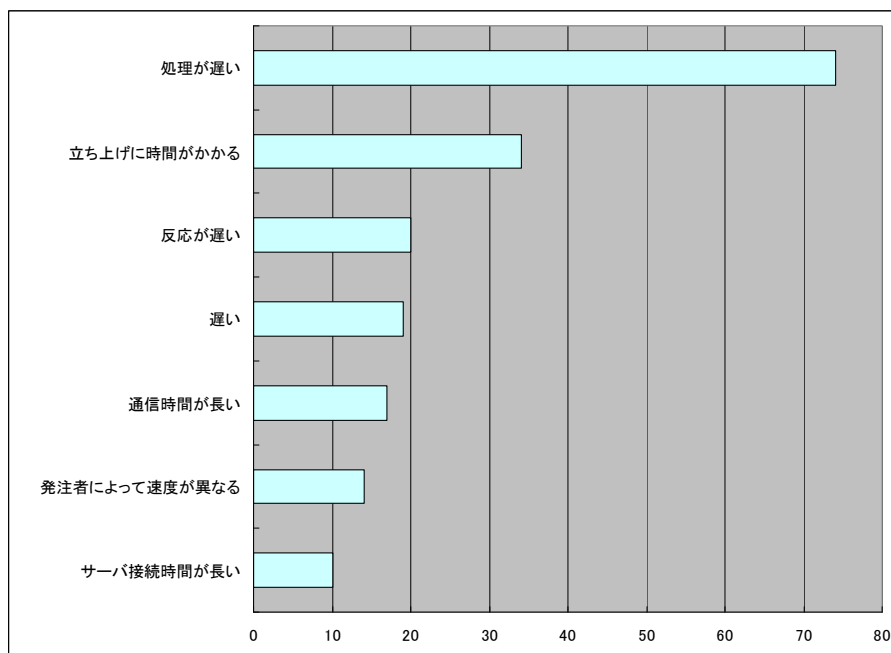


図 3-13 設問3 主な改善意見・要望



#### 設問4 電子入札システムの利用時間について

設問4については、472件の回答のうち434件で回答をいただいた。

利用時間については、時間内で入札を行っているものの、早朝や夜間の時間延長や24時間運用、土日・祝日の運用等、運用時間の見直し、利用時間が短い等の意見も26%（124件）あった。

図 3-14 設問4 回答分類図

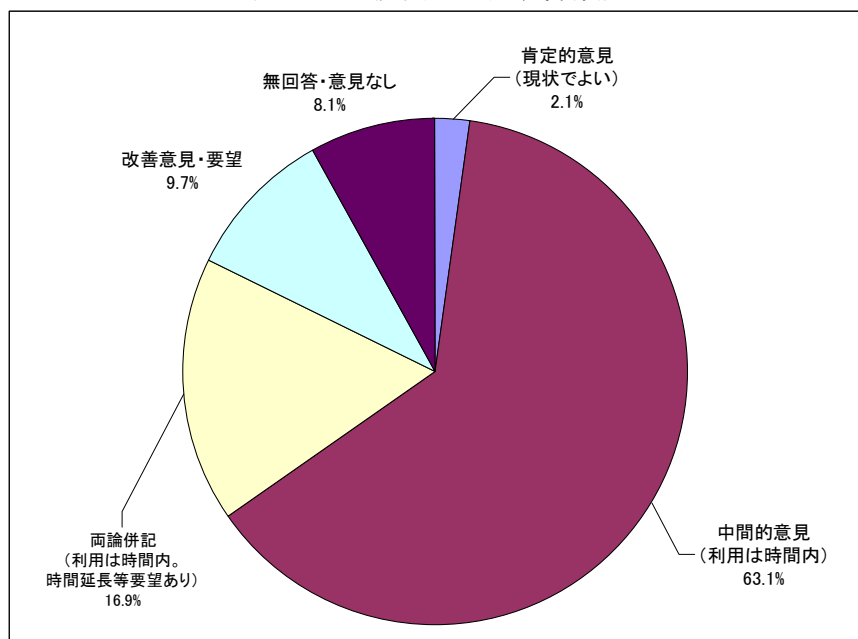
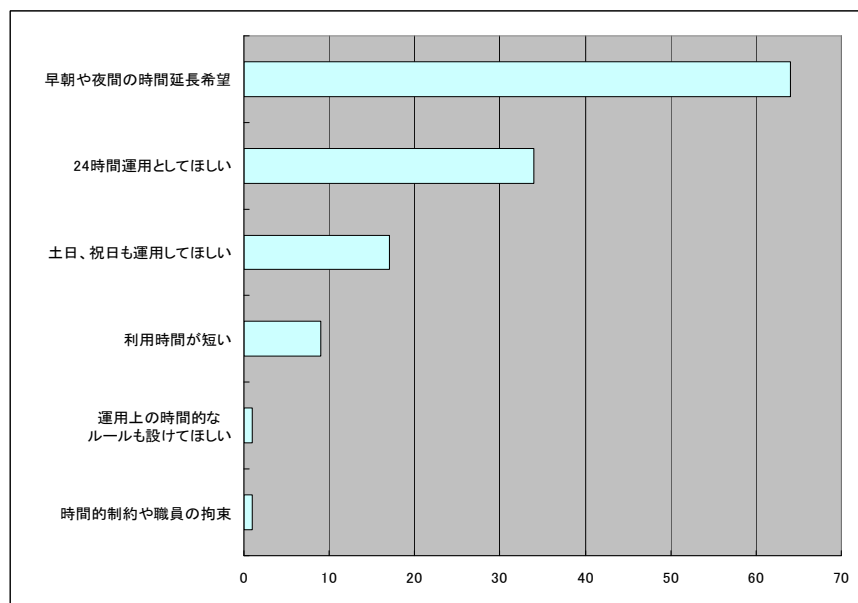


図 3-15 設問4 主な改善意見・要望



**設問5 システムの効果について**

設問5については、472件の回答のうち384件で回答をいただいた。

電子入札による、旅費の削減効果は68%（323件）が感じているが、人件費やその他の経費についてはPC等の機器購入費用や知識習得等で相殺され効果を感じないとの意見もあった。

また、入札は電子となっているものの資料の配布や閲覧が電子化されていないため、結局のところ庁舎へ足を運ぶことになり非効率である等の意見もあった。

図 3-16 設問5 回答分類図

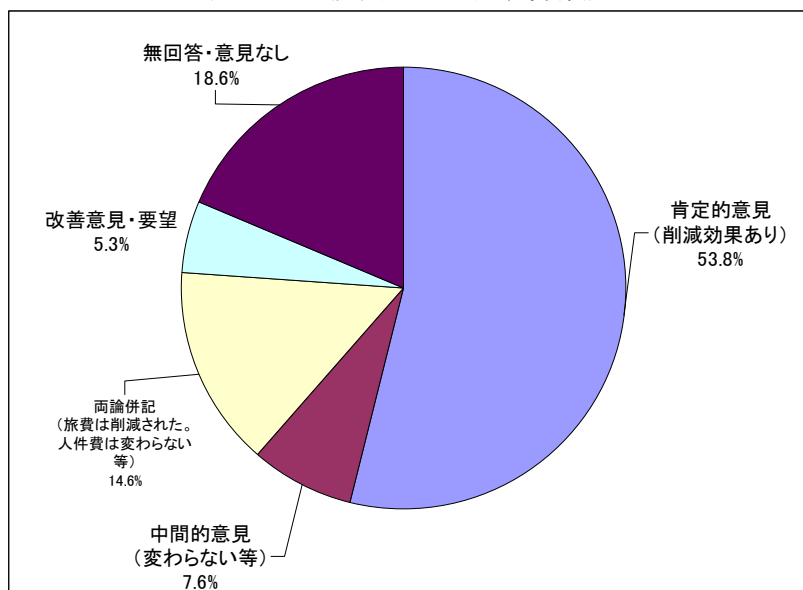
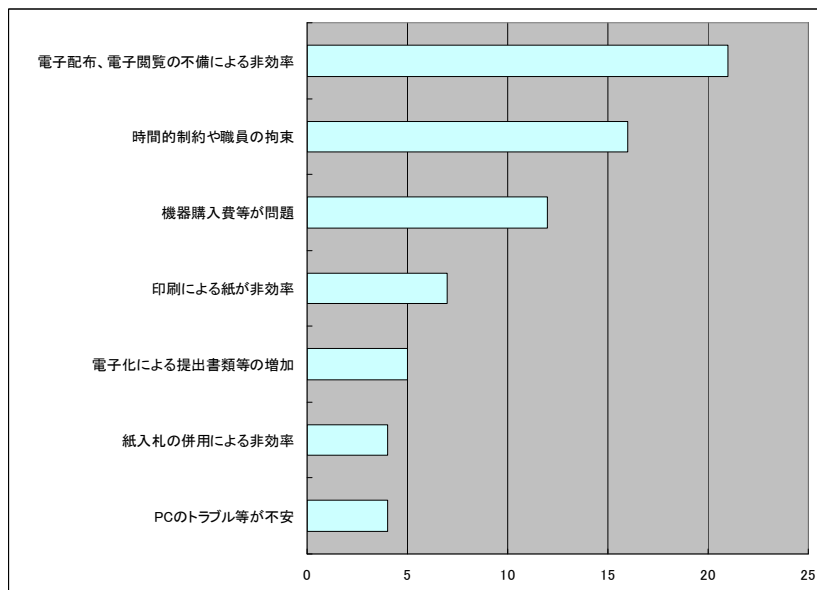


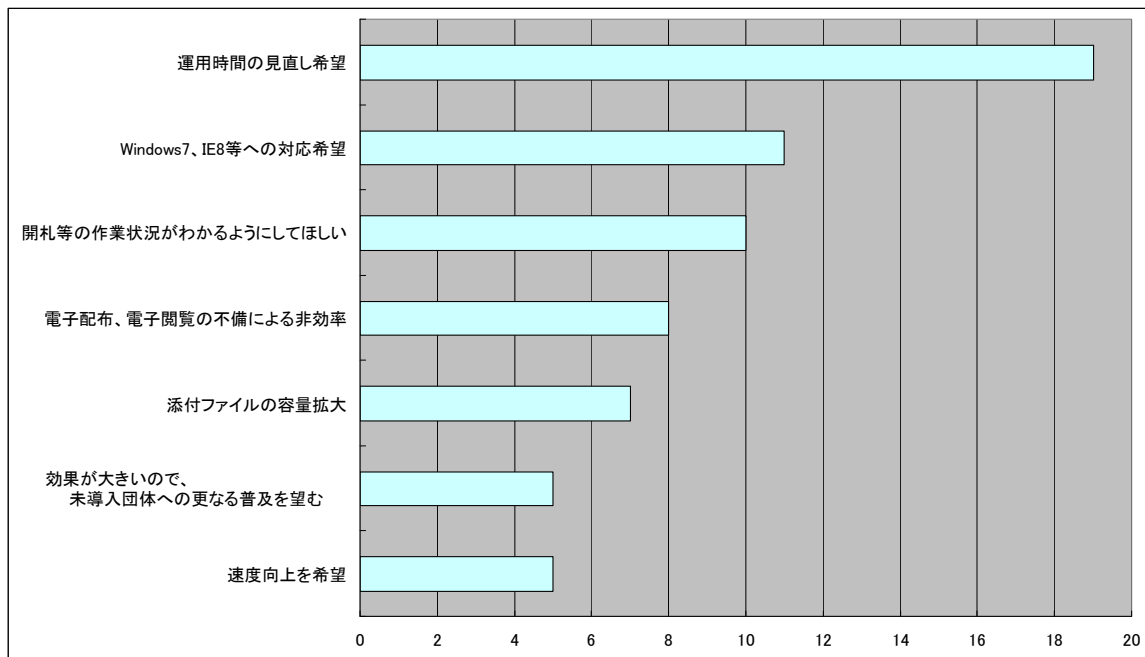
図 3-17 設問5 主な改善意見・要望



### 設問6 自由意見について

472件の回答のうちの140件で自由意見をいただいた。主なご意見は以下のとおりであった。

図 3-18 設問6 主な自由意見



#### 4. 電子入札コアシステム業務の現況および改善の視点

##### (1) コアシステム機能の追加・変更

コアシステムの機能追加等については、その費用が将来の料金で賄われること、また、各発注機関の電子入札システムに実装されて始めて効果が発現することから、利用発注機関の合意形成と複数の実装見込みを採用の条件としている。そこで、ユーザ会議、地方ブロックユーザ会議の場に、システム採用団体の実務担当者が集まり、以下について具体的な課題や仕様（業務手順）を討議するプロセスを設けている。（図 4-1 参照）

- ・ コアシステム機能（工事・業務） の追加・変更の可否、仕様
- ・ 適用保守（OS やミドルウェアのバージョンアップ対応等）の実施時期調整
- ・ 構築手法、運用方法、障害対応に関するユーザ間の情報交換

一方、利用者会議では、受注企業や学識経験者の参加のもと、コアシステムの機能に限らず電子入札全般を対象とした広範囲な意見をうかがっている。利用者会議の意見や利用者アンケートにより、これまで検討の対象外としていた以下について、改善への強いニーズがあることが明らかとなった。

- 物品・役務入札機能
- 性能（速度）向上
- 利用時間の延長など発注者側の運用

このうち a), b) の意見については、ユーザ会議での検討対象に含め、必要な調査検討に着手すべきと考えられる。なお、c) は、各発注機関の運用方針や規定に対する意見であり、電子入札コアシステム事業では対応できないため、各発注機関への情報提供にとどめるべきである。

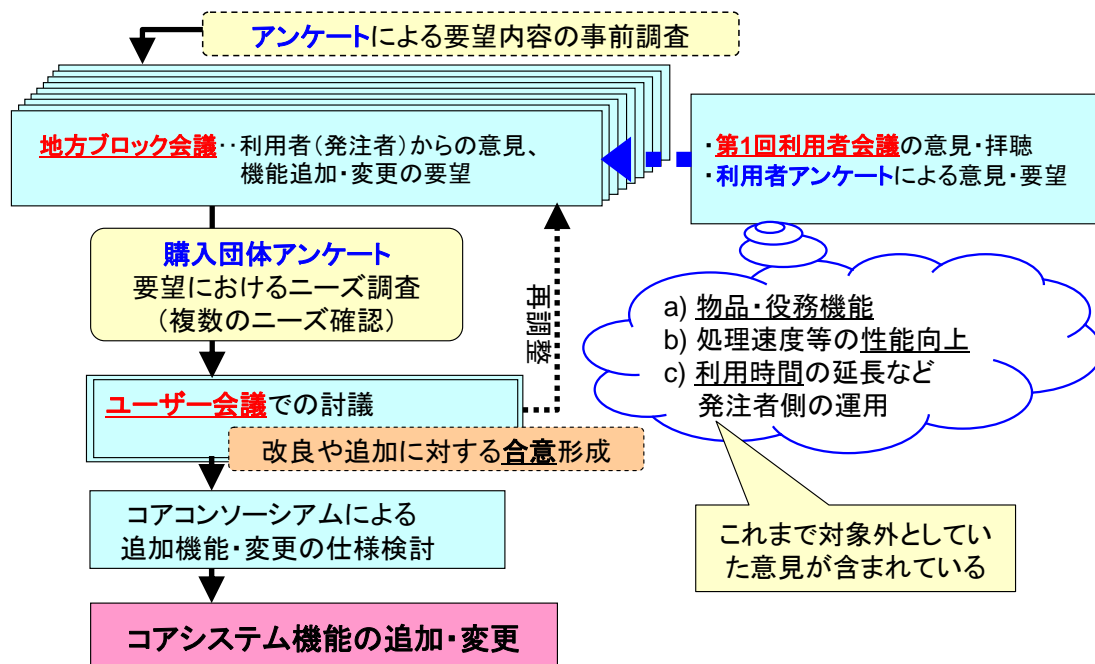


図 4-1 コアシステムの機能追加・変更の流れ

(2) 処理速度等の性能向上

アンケート結果では、現在の処理速度に問題が無いとする意見が9件に対し、処理速度の改善を指摘する意見が100件を超え、そのうち、システム起動時、サーバとの通信時、開札時、画面表示時、認証処理時といった**具体的な場面での処理遅延**を指摘する意見が半数以上を占めている。

電子入札システムは強固なセキュリティを要求されるため、一般のアプリケーションよりも多くの処理時間を要する場面が多い。また、速度低下の要因が、各ユーザのPC固有の処理能力、ネットワークの回線速度、サーバの処理性能、暗号・認証処理など非常に広範囲に存在しうる。さらには、OSやJAVA実行環境のバージョンアップによって処理速度の低下を招く事例が報告されるなど、その要因分析と対処方法が一層困難となりつつある。

このため、セキュリティレベルの設定、コアシステムの処理手順、運用方法を含む**広範囲な速度遅延要因の抽出並びに速度改善の可能性及び対応費用等についての調査**を行う必要がある。

(3) コアシステムの料金と使途

コアシステムの現行の料金体系は表4-1のとおり。ライセンス料については、入札案件の金額規模と入札件数を意識した料金区分となっている。また、金額と件数で小規模と想定される発注機関のコアシステム導入を促進するため、少額利用料金を定めている。(少額利用料金については、平成17年に84万円から現行水準に引き下げた。)

表4-1 コアシステムの料金体系

(千円)

区 分		契約規模(単年度の発注予算額) 又は人口規模	価 格[税込] (一括買取り方式)	保守料/年
単独購入 (永年ライセンス方式)	国土交通省	2兆円以上	52,500	7,875
	政府機関・公団(大)	1000億円以上2兆円未満	31,500	4,725
	政府機関・公団(中)	100億円以上1000億円未満	21,000	3,150
	政府機関・公団(小)	100億円未満	10,500	1,575
	都道府県(大)	人口500万人以上	21,000	3,150
	都道府県(中小)	人口500万人未満	15,750	2,362
	政令指定都市		15,750	2,362
	その他市町村等		5,250	788
共同購入 (永年ライセンス方式)	都道府県(大)+政令指定都市、その他市町村等		26,250	3,938
	都道府県(中小)+政令指定都市、その他市町村等		21,000	3,150
	政令指定都市+その他市町村等		21,000	3,150
	複数のその他市町村等		10,500	1,575
少額利用者向け 特例料金	年間の「電子入札」による発注件数350件以内 かつ合計発注額150億円未満の団体が対象 (保守料込)		利用料/年[税込] 416	
変動型単価 契約方式	年間の「電子入札」による発注件数351件以上、 合計発注額150億円以上の団体が対象 (保守料込)		利用料/年[税別] 632	発注件数別でコアシステムの利用単価が決まる。

コアシステムの料金の使途（支出）は、大きく分けて、機能の追加・変更（システム改良費）、ユーザサポートを含む保守（保守費）、契約等の事務（共通管理費）である。

このうち、機能の追加・変更に要する費用は投資的経費であり、3年に渡って返済することとしている。

表 4-2 コアシステムの料金の使途

使途区分 【費用区分】	項目	概要
機能追加・変更 【改良費】 【改良費返済金】	本体部、カスタマイズ部への追加・変更	コアユーザー会議の参加団体からの機能追加・変更要望事項又は法改正に伴い実施
サービスセンタ 【保守費】	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報提供サービス</li> <li>サービスセンタ運営委託費</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コアシステムリリース関連情報提供</li> <li>コアシステム障害関連情報提供</li> <li>技術情報掲載・提供</li> </ul>
	技術情報問い合わせサービス	技術情報問い合わせ対応
	アップデートモジュールの配布	小規模な修正モジュールを作成し、配布
ソフトウェア保守 【保守費】	コアシステムのソフトウェア保守対応	ISO/IEC14764 ソフトウェア保守規格に基づく是正保守、予防保守、適応保守、完全保守の実施
事務局運営 【保守費】	事業運営の人件費・事務費、国際標準化対応経費	コアシステム事業運営のための事務局の人件費、旅費、事務経費
【標準化・自主研究費】	標準化・自主研究費事業	コアシステム機能向上に係る研究費、コアシステムの標準化事業
【共通管理費】	契約事務・管理部門運営	ライセンス契約・保守契約にかかる事務経費、管理部門の事務経費

コアシステムの開発・検査・保守・改良、ユーザサポート、損害賠償請求への対応、国際標準化対応など電子入札コアシステム事業を継続するのに相当の費用が必要となり、これを公正、妥当性を保ちつつ、受益者負担の原則が維持されるように各利用機関に負担頂くことが必要と考えている。このため、一般に販売されているソフトウェアライセンスのような収益を目的とした定価設定をせず、表 4-1 のような入札案件の金額規模と入札件数を意識した料金区分としている。受益者負担の原則ならば、ユーザ数が増加すると、それぞれが負担すべき費用が逡減することになる。

しかし、図 4-2 の平成 21 年度の収支概要に示すとおり、単年度の不足額が発生しており、内部留保から補填している状況である。コアシステム事業の初年度（H14 年度）の料金設定時には想定していなかった、入札契約制度の改正のための機能追加・変更や、OS や JAVA 実行環境等の度重なるバージョンアップに対する適応保守（法令、OS、ミドルウェアなど利用周辺環境の変化において、ソフトウェアが利用可能として保ち続けるための修正）の増大等のため、平成 14 年の事業開始以来、コアシステムユーザ数の増加にかかわらず、支出が料金収入を上回り、不足額が発生する状態が続いている。

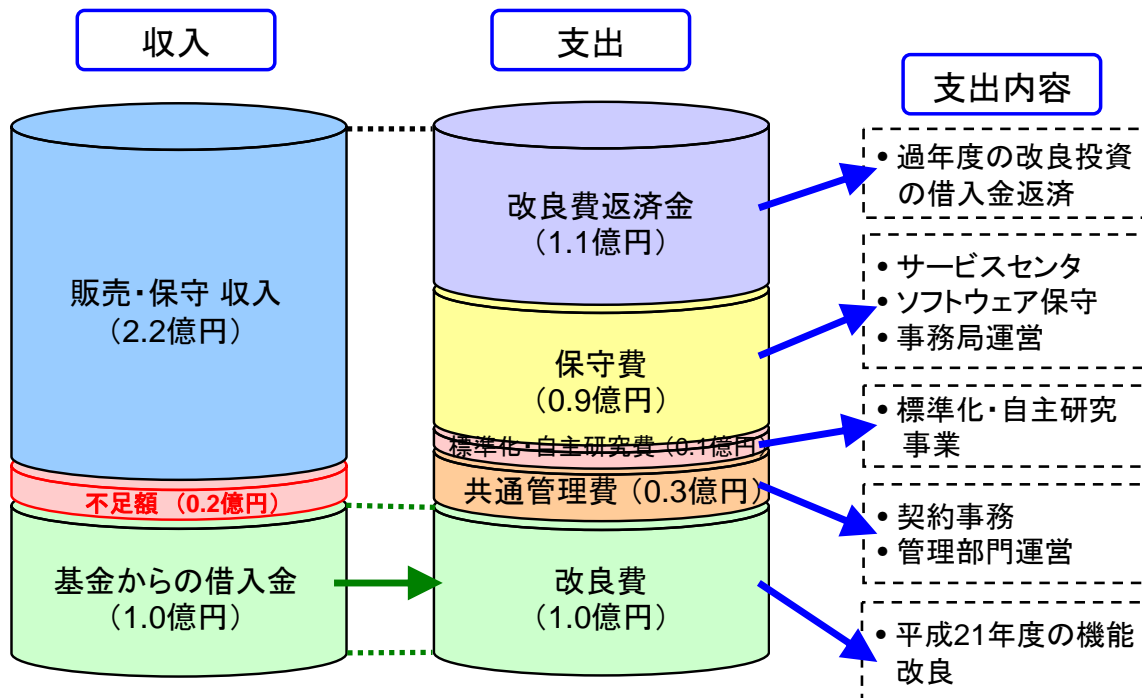


図 4-2 平成 21 年度の電子入札コアシステム収支概要

注) 損益計算上は、基金からの借入金（収入）と同額の改良費（支出）は計上されないが、便宜上記載している。

アンケートから頂いた、多数の料金引き下げの御意見にもかかわらず、過去の投資額の未回収状況に加えて、今後の暗号アルゴリズム移行対応、併せて要望の多い機能を一括して追加・変更すること、機能変更後の保守業務、ユーザサポートの一層の充実が必要となることが想定され、これらが料金水準の引き上げ要因になる。

#### (4) ユーザサポート

他の設問に比べて意見が少ないことから、現状のユーザサポートがある程度評価されているとも考えられる。一方で、OS やミドルウェアのバージョンアップに対する適用保守の強化、情報提供のさらなる充実、サポートの迅速化を求める意見が比較的多いことから、ユーザサポートの一層の充実および迅速化に努める必要がある。

## 5. 事業改善方針

### (1) コアシステム機能の充実

強いニーズにかんがみ、検討対象を工事・業務だけでなく物品・役務にまで拡大する。また、暗号アルゴリズム移行対応の機会に、コアシステム機能の大幅な充実を図る。この際、保守等の料金水準を引き上げることのないよう留意する。

### (2) 処理速度等の性能向上

処理速度遅延の原因、速度改善方法と効果等に関する調査を行い、JAVA 実行環境の見直し等抜本的な性能改善を検討する。

### (3) 料金体系等

ライセンス料、保守料金については、暗号アルゴリズムの危殆化対応、サポートの充実、コアシステム機能の充実等を図りつつ、現行水準の維持に努めるとともに、収支均衡を目指してコスト削減努力を行う。

なお、料金の使途及び収支概要を利用者会議で明示するなど透明性の確保を図る。

また、Saas 方式が今後主流となることを見越しつつ SLA にも対応し、少額・少数利用の市町村への導入にも配慮した料金体系の追加検討を行う。

### (4) ユーザサポート

サービスセンタの対応の迅速化を目指して体制等の強化を行う。これまで直接の契約機関を対象に実施していたアンケート調査の範囲を共同利用の市町村に拡大するなど、より的確なニーズ把握に努める。

## 6. 今後の取組

今回業務改善案に反映できなかったご意見についても今後の業務運営の参考にさせていただきます。

添付資料

別紙 1 「電子入札コアシステム」利用者アンケート結果について報告  
電子入札コアシステム利用者会議（第 2 回）参考資料 2 - 2

## 「電子入札コアシステム」利用者アンケート結果について報告

平成 22 年 9 月末から 10 月にかけて標記の利用者アンケートを実施致しました。多くの利用者の皆様から意見を頂きました。ご協力有り難うございました。アンケート結果について報告致します。

なお、利用者意見への対応につきましては、利用者会議等を踏まえ見直しを行う予定です。

### 1. 趣旨

本年 5 月に実施されました、行政刷新会議「事業仕分け」におきまして、当センターが実施しております「電子入札システムの運営管理」、「工事・業務実績提供システム（コリンズ・テクリス）からの情報提供」が仕分け対象事業となり、評価を受けました。

当センターでは、評価結果を踏まえ、両事業に関します利用者の皆様方のご意見・ご要望についてアンケートを実施致しました。

### 2. 目的

このアンケートは、利用者の皆様方のご意見ご要望を拝聴し今後の当該事業の運営改善に活用するため実施致しました。

### 3. 「電子入札コアシステム」アンケート結果

<u>アンケート結果等について</u> .....	2
（発注機関）	
①・ <u>電子入札コアシステムアンケート調査について</u> .....	4
②・ <u>発注機関集計表(電子入札コアシステム)</u> .....	10
③・ <u>電子入札コアシステム利用者意見への対応（発注者）</u> .....	13
（受注者・入札参加者）	
④・ <u>電子入札コアシステムアンケート調査について</u> .....	18
⑤・ <u>受注者集計表（電子入札コアシステム）</u> .....	24
⑥・ <u>電子入札コアシステム利用者意見への対応（受注者）</u> .....	26

### 4. 今後の取組

今後も当該事業の運営改善に取組んで参ります。利用者の皆様のご意見・ご要望引き続きお寄せいただきますようお願いいたします。

## 利用者アンケート結果等について 「電子入札コアシステム」

### 1. 概要

アンケート期間 : 平成 22 年 9 月 29 日～平成 22 年 10 月 15 日

アンケート対象者 : 利用者である公共機関発注者、受注者（企業）、関係団体

アンケート方法 :

発注者 : メールで周知、主に Web（又はメール・FAX）で収集

※共同利用団体への周知は母体団体より転送

受注者 : ホームページ、関係団体へ周知、主に Web（又はメール・FAX）で収集

※受注者はコリンズテクリスと合わせて周知

### 2. 主な質問事項

アンケートは、以下の設問に対して回答は自由記載（文字数は 250 文字以内とした。）

#### 2. 1 発注者

（発注者の皆様）

「電子入札コアシステム」に関するアンケート

名称（機関名）

所属(部、室、課等)

ご記入者 役職名

メールアドレス

お名前

（発注者様）

「電子入札コアシステム」について、ご意見、ご要望を以下の該当する欄にご記入ください。

問 1 - 1

【コアシステムの機能等についてお聞きします。皆様のご要望を受け新たな機能として事後審査型入札方式を追加し操作においても表示画面の統一を図っています。これ以外も含め機能、操作性についてご意見、ご要望がございましたらご回答ください。】

問 1 - 2

【コアシステムの性能についてお聞きします。処理速度等についてご意見、ご要望がございましたらご回答ください。】

問 1 - 3

【コアシステムの料金についてお聞きします。料金水準、料金体系についてご意見、ご要望がございましたらご回答ください。】

問 1 - 4

【コアシステムの運営についてお聞きします。サービスセンタの問い合わせ対応等についてご意見、ご要望がございましたらご回答ください。】

問 1 - 5

【その他、ご意見、ご要望がございましたらご自由にご記入ください。】

#### 2. 2 受注者（入札参加者）

（入札参加者の皆様）

「電子入札コアシステム」に関するアンケート

名称（企業名）

所属(部、課等)

ご記入者 役職名

お名前

メールアドレス

企業 ID をお持ちでない方は無記入としてください。

企業 ID

(入札参加者の皆様)

ご利用になっている「電子入札システム」について、ご意見を以下の該当する欄にご記入ください。

問2-1

【電子入札で入札を行っている主な発注機関名をご記入下さい。(複数可)】

問2-2

【ご利用の電子入札システムの機能等についてお聞きします。機能、操作性についてご意見、ご要望がございましたらご回答ください。】

問2-3

【ご利用の電子入札システムの性能についてお聞きします。処理速度等についてご意見、ご要望がございましたらご回答ください。】

問2-4

【ご利用の電子入札システムでの入札作業、送信のために利用されている主な時間帯(24時間単位)についてご回答ください。また、ご意見、ご要望がございましたらご回答ください。】

問2-5

【ご利用の電子入札に参加した場合の旅費や人件費等の経費の増・節減効果等について回答願います。またご意見、ご要望がございましたらご回答ください。】

問2-6

【その他、ご意見、ご要望がございましたらご自由にご記入ください。】

### 3. 回答数

発注機関等	回答数
総数	188
国の機関	31
独立行政法人等	10
都道府県・政令市	48
市長村等	99

受注企業	回答数
民間企業	472

### 4. アンケート結果

別紙参照

## 電子入札コアシステムアンケート調査について

### 1. 発注機関

#### 1) 実施要領

電子入札システムを利用している公共発注機関を対象に Web で回答いただく方式のアンケート調査を 9 月 29 日（水）に直接メールで依頼し、10 月 15 日（金）を回答期限としてご協力をお願いした。

#### 2) アンケート内容（それぞれ 250 字以内の自由記述方式）

##### 設問 1 コアシステムの機能、操作性について

【コアシステムの機能等についてお聞きします。皆様のご要望を受け新たな機能として事後審査型入札方式を追加し操作においても表示画面の統一を図っています。これ以外も含め機能、操作性についてご意見、ご要望がございましたらご回答ください。】

##### 設問 2 コアシステムの性能について（処理速度等）

【コアシステムの性能についてお聞きします。処理速度等についてご意見、ご要望がございましたらご回答ください。】

##### 設問 3 コアシステムの料金について（料金水準、料金体系等）

【コアシステムの料金についてお聞きします。料金水準、料金体系についてご意見、ご要望がございましたらご回答ください。】

##### 設問 4 コアシステムの運営について（運営時間やサービスセンタの対応等）

【コアシステムの運営についてお聞きします。サービスセンタの問い合わせ対応等についてご意見、ご要望がございましたらご回答ください。】

##### 設問 5 自由意見（その他、ご意見、ご要望）

【その他、ご意見、ご要望がございましたらご自由にご記入ください。】

#### 3) 回答結果

127 機関（契約団体）にアンケート協力依頼をお願いしたところ 89 機関（70.1%）からの回答をいただいた。また、国土交通省内部 27 機関及び都道府県等の共同利用の主体機関から転送いただいた共同利用参加の 72 機関からの回答があり、合計 188 機関からの回答となっている。今回得られた記述内容について、概ね次ページ以下のように整理した。

発注機関等	依頼数	回答数
国の機関	8	4
独立行政法人等	15	10
都道府県・政令市	59	48
市長村等	45	27
国土交通省内部機関	※	27
その他（共同利用参加等）	※	72
総 数	127	188

※国土交通省内部機関、共同利用参加機関については国土交通省及び共同利用主体からの転送

**設問1 システムの機能について**

設問1については、188件の回答のうち106件で回答をいただいた。機能面については、操作性向上（21件：11%）や画面表示の工夫（20件：10%）、質問回答機能の強化（17件：9%）等が上位に位置づけられた。

図1 設問1 回答分類図

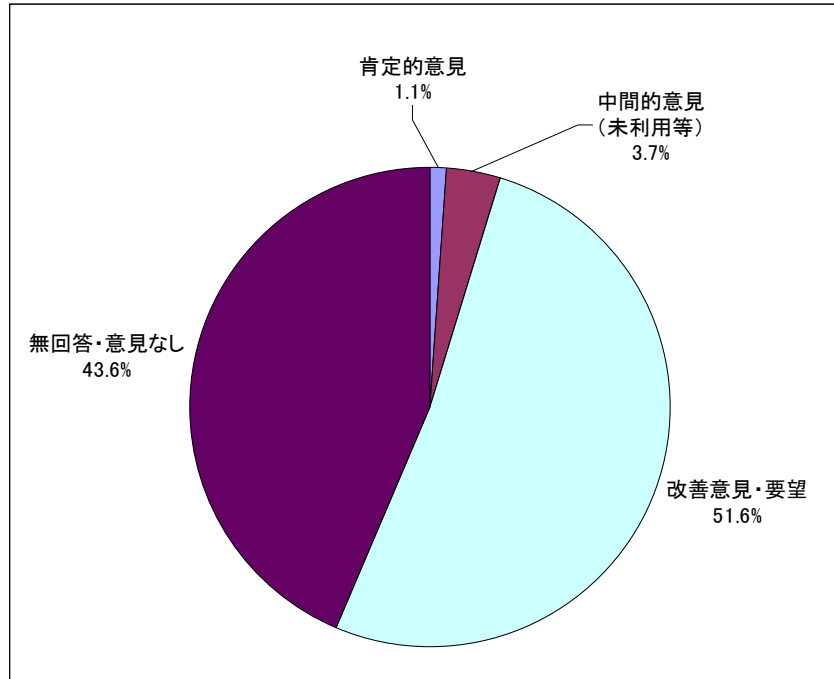
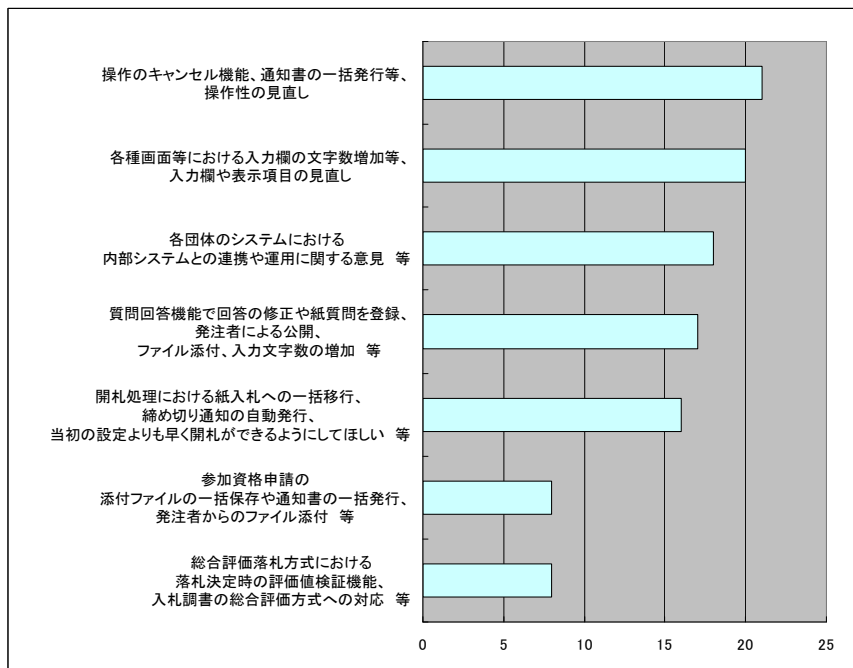


図2 設問1 主な改善意見・要望



## 設問 2 システムの性能について

設問 2 については、188 件の回答のうち 117 件で回答をいただいた。性能面については、処理やサーバ接続、認証・署名等、速度に対する不満等が大半となっている。また、少数ではあるが紙入札との併用で時間を要しているとの意見もあった。

図 3 設問 2 回答分類図

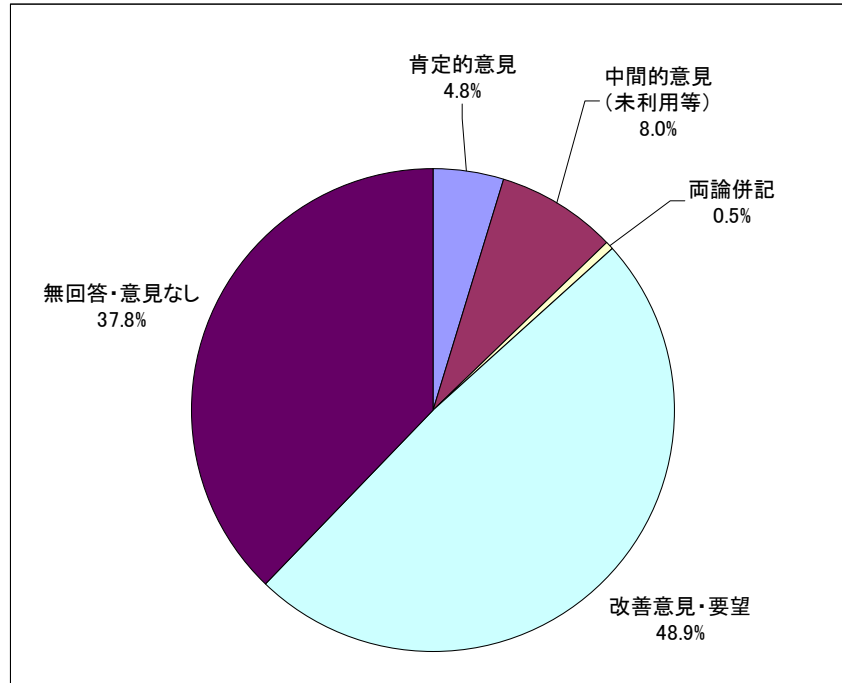
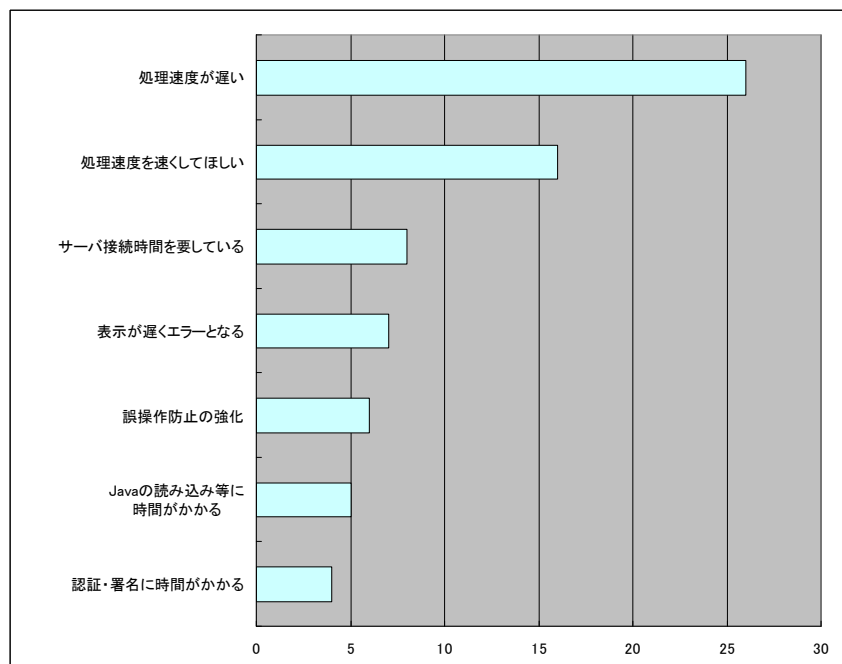


図 4 設問 2 主な改善意見・要望



### 設問3 利用料金について

設問3については、188件の回答のうち78件で回答をいただいた。料金については、保守料の引下げ（11件：6%）や料金の透明化（9件：5%）、高い等（9件：5%）、料金の不満や見直しの意見が多かった。

一方、値下げにともなうサービス低下を危惧する意見もあった。

図5 設問3 回答分類図

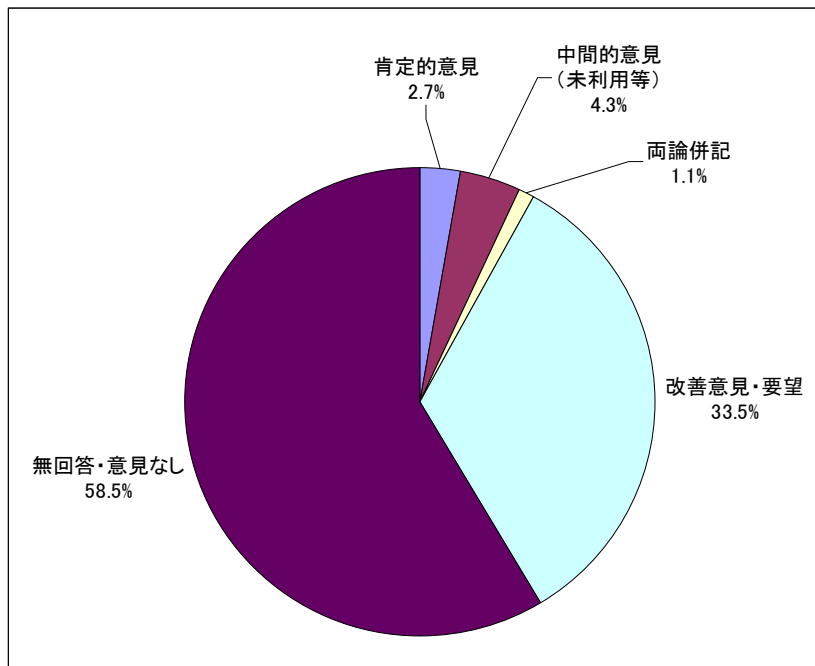
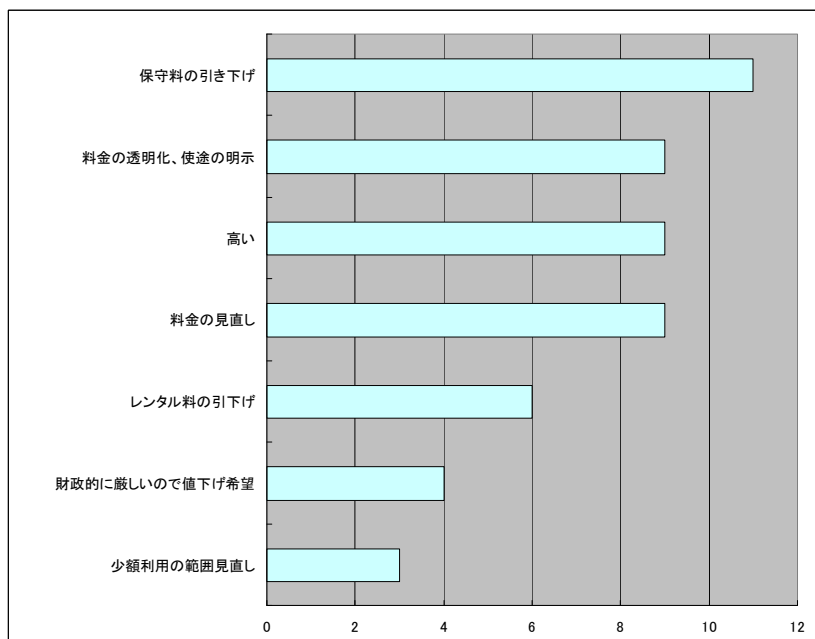


図6 設問3 主な改善意見・要望



#### 設問4 システムの運用について

設問4については、188件の回答のうち47件で回答をいただいた。  
サービスセンタの運営にあたっては、少数ではあるが回答が遅い、回答予定や進捗状況を報告してほしい等の問合せ対応に対する意見があった。

図7 設問4 回答分類図

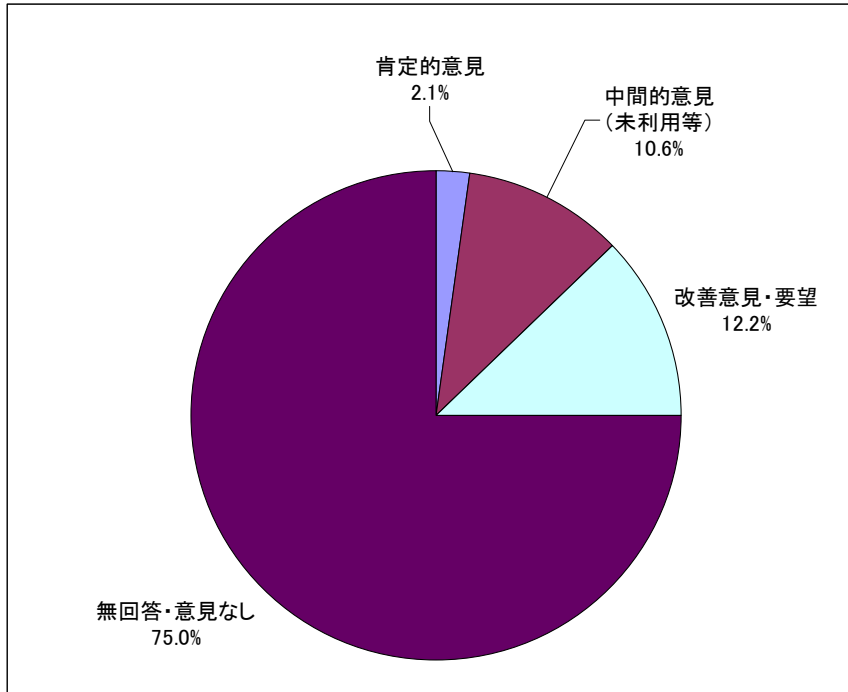
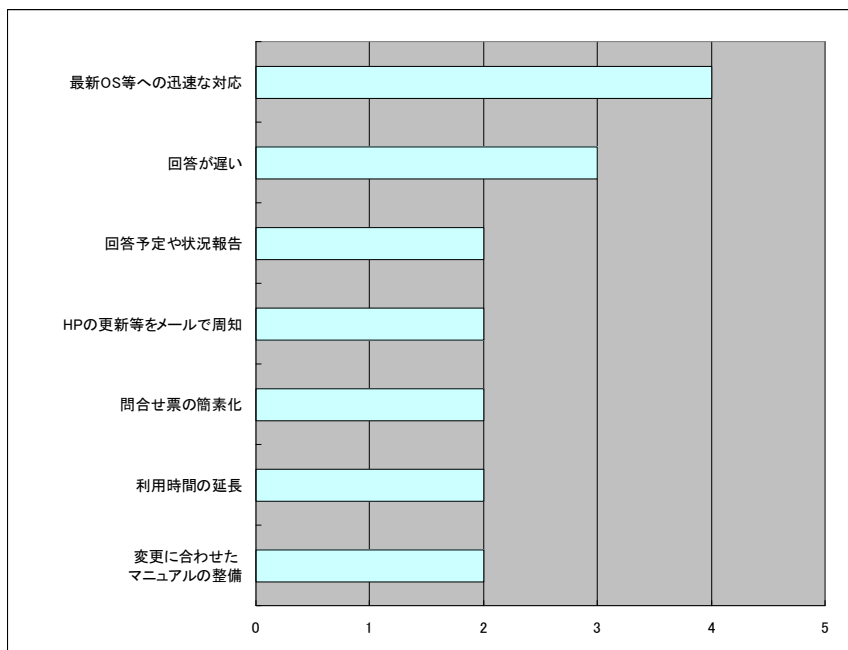


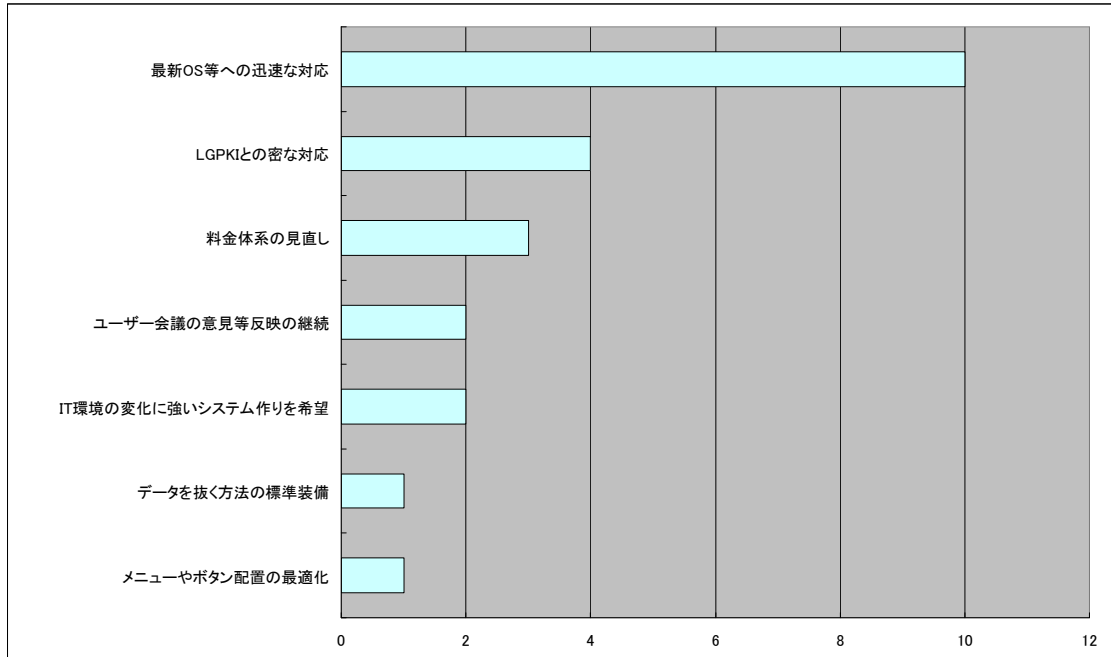
図8 設問4 主な改善意見・要望



設問5 自由意見について

188件の回答のうちの47件で自由意見をいただいた。主なご意見は以下のとおりであった。

図9 設問5 主な自由意見



発注機関集計表(電子入札コアシステム)

回答数	188
-----	-----

有回答	169	89.9%
-----	-----	-------

無回答 (全問回答なし又は意見なし)	19	10.1%
-----------------------	----	-------

設問1			設問2			設問3			設問4			設問5		
【コアシステムの機能等についてお聞きします。皆様のご要望を受け新たな機能として事後審査型入札方式を追加し操作においても表示画面の統一を図っています。これ以外も含め機能、操作性についてご意見、ご要望がございましたらご回答ください。】			【コアシステムの性能についてお聞きします。処理速度等についてご意見、ご要望がございましたらご回答ください。】			【コアシステムの料金についてお聞きします。料金水準、料金体系についてご意見、ご要望がございましたらご回答ください。】			【コアシステムの運営についてお聞きします。サービスセンターの問い合わせ対応等についてご意見、ご要望がございましたらご回答ください。】			【その他、ご意見、ご要望がございましたらご自由に記入ください。】		
	数	%		数	%		数	%		数	%		数	%
有回答	106	56.4	有回答	117	62.2	有回答	78	41.5	有回答	47	25.0	有回答	47	25.0
○肯定的意見	2	1.1	○肯定的意見	9	4.8	○肯定的意見	5	2.7	○肯定的意見	4	2.1			
△中間的意見	7	3.7	△中間的意見	15	8.0	△中間的意見	8	4.3	△中間的意見	20	10.6			
○●両論併記	0	0.0	○●両論併記	1	0.5	○●両論併記	2	1.1	○●両論併記	0	0.0			
●改善意見・要望	97	51.6	●改善意見・要望	92	48.9	●改善意見・要望	63	33.5	●改善意見・要望	23	12.2			
無回答・意見なし	82	43.6	無回答・意見なし	71	37.8	無回答・意見なし	110	58.5	無回答・意見なし	141	75.0	無回答・意見なし	141	75.0
回答内容	数	1	回答内容	数	121	回答内容	数	82	回答内容	数	52	回答内容	数	46
○問題ない	2		○問題ない	9		○妥当	5		○よかった	4		5-1 最新OS等への迅速な対応	10	5.3%
												5-2 LGPKIとの密な対応	4	2.1%
△未利用、回答困難など	7		△未利用、今後利用等	9		△未利用、回答不可等	7		△未利用、判断不可等	20		5-3 料金体系の見直し	3	1.6%
			△速いほどよい	6		△安いほど良い	2		△入札参加者に対する参加推進	1		5-4 ユーザー会議等の意見等反映の継続	2	1.1%
												5-5 IT環境の変化に強いシステム作りを希望	2	1.1%
1-1 操作のキャンセル機能、通知書の一括発行等、操作性の見直し	21	11.2%	2-1 処理速度遅い	26	13.8%	3-1 保守料の引き下げ	11	5.9%	4-1 最新OS等への迅速な対応	4	2.1%	5-6 データを抜く方法の標準装備化	1	0.5%
1-2 各種画面等における入力欄の文字数増加等、入力欄や表示項目の見直し	20	10.6%	2-2 処理速度を速くしてほしい	16	8.5%	3-2 料金の透明化、用途の明示	9	4.8%	4-2 回答が遅い	3	1.6%	5-7 メニューやボタン配置の最適化	1	0.5%
1-3 各団体のシステムにおける内部システムとの連携や運用に関する意見等	18	9.6%	2-3 サーバ接続時間を要している	8	4.3%	3-3 高い	9	4.8%	4-3 回答予定や状況報告	2	1.1%	5-8 操作時のポップアップによる確認	1	0.5%
1-4 質問回答機能で回答の修正や紙質問を登録、発注者による公開、ファイル添付、入力文字数の増加等	17	9.0%	2-4 表示が遅くエラーとなる	7	3.7%	3-4 料金の見直し	9	4.8%	4-4 HPの更新等をメールで周知	2	1.1%	5-9 開札結果通知の入力文字数の増加	1	0.5%
1-5 開札処理における紙入札への一括移行、締め切り通知の自動発行、当初の設定よりも早く開札ができるようにしてほしい等	16	8.5%	2-5 誤操作防止の強化	6	3.2%	3-5 レンタル料の引下げ	6	3.2%	4-5 問合せ票の簡素化	2	1.1%	5-10 執行担当署名名のやり直しを可能にしてほしい	1	0.5%
1-6 参加資格申請の添付ファイルの一括保存や通知書の一括発行、発注者からのファイル添付等	8	4.3%	2-6 Javaの読み込み等に時間がかかる	5	2.7%	3-6 財政的に厳しいので値下げ希望	4	2.1%	4-6 利用時間の延長	2	1.1%	5-11 OSやブラウザの適用範囲(Mac等)の拡大を希望	1	0.5%
1-7 総合評価落札方式における落札決定時の評価値検証機能、入札調書の総合評価方式への対応等	8	4.3%	2-7 認証・署名に時間がかかる	4	2.1%	3-7 少額利用の範囲見直し	3	1.6%	4-7 変更にあわせてマニュアルの整備	2	1.1%	5-12 処理速度向上	1	0.5%
1-8 誤操作防止の強化	8	4.3%	2-8 案件数や利用者が多い時に遅い	4	2.1%	3-8 利用促進のため値下げ	2	1.1%	4-8 危機管理体制の充実	2	1.1%	5-13 料金に見合った継続的システム改修の実施	1	0.5%
1-9 物品・役務機能の充実、質問回答機能の利用、ICカードを使わない機能の拡充、公示期間中の案件修正等	8	4.3%	2-9 利用回線や端末により速度が異なる	3	1.6%	3-9 少額利用の細分化	2	1.1%	4-9 推奨環境意外への類似事例等の情報提供	2	1.1%	5-14 廉価版等の提供	1	0.5%
1-10 Windows7への対応、64bit版対応、最新OS等への迅速な対応等	8	4.3%	2-10 紙移行の処理に時間がかかる	3	1.6%	3-10 サービス低下ないようにしてほしい	2	1.1%	4-10 ASP利用の場合の支払をベンダー経由としてほしい	1	0.5%	5-15 カスタマイズしやすい、より汎用性向上	1	0.5%
1-11 <J>引き結果の保存、見積合せでの<J>引き機能の利用等	8	4.3%	2-11 タイムアウト時間の延長	2	1.1%	3-11 県の料金が共同利用する市町村に比べて高い	1	0.5%	4-11 コアと開発ベンダーの問合せ窓口の一本化	1	0.5%	5-16 カスタマイズした内容をコアシステムの標準にしてほしい	1	0.5%
1-12 申請書や内訳書、入札書について、一括で印刷出来る機能	8	4.3%	2-12 入札結果のダウンロードを即時にできるようにしてほしい	1	0.5%	3-12 利用しているコアのバージョンにより保守料金の設定	1	0.5%	4-12 ホームページが見つけにくい	1	0.5%	5-17 サービスセンターの早期回答、中間報告等を希望	1	0.5%
1-13 技術資料や内訳書等の一括ダウンロード機能の追加等	7	3.7%	2-13 OSやブラウザ等の機種に依存しないシステム作りを希望	1	0.5%	3-13 プログラム著作物許諾料が件数比例で増加するのは疑問	1	0.5%	4-13 電子と紙、両方に対応したチュートリアルの作成	1	0.5%	5-18 受注者向けの分かりやすいマニュアルの提供	1	0.5%

設問1			設問2			設問3			設問4			設問5							
【コアシステムの機能等についてお聞きします。皆様のご要望を受け新たな機能として事後審査型入札方式を追加し操作においても表示画面の統一を図っています。これ以外にも含め機能、操作性についてご意見、ご要望がございましたらご回答ください。】			【コアシステムの性能についてお聞きします。処理速度等についてご意見、ご要望がございましたらご回答ください。】			【コアシステムの料金についてお聞きします。料金水準、料金体系についてご意見、ご要望がございましたらご回答ください。】			【コアシステムの運営についてお聞きします。サービスセンタの問い合わせ対応等についてご意見、ご要望がございましたらご回答ください。】			【その他、ご意見、ご要望がございましたらご自由に記入ください。】							
1-14	各ベンダーが拡張モジュールを取り入れやすいような工夫、カスタマイズ領域での個々の機能を選択できる形で提供 等	7	3.7%	2-14	最新OS等への迅速な対応	1	0.5%	3-14	廉価版の提供や県民数に応じた料金体系	1	0.5%	4-14	カスタマイズに対するサポートの柔軟性の向上	1	0.5%	5-19	入札制度対応の基本的な対応方針	1	0.5%
1-15	印刷機能のない画面での印刷機能の追加、ファイルの印刷プレビュー機能 等	6	3.2%	2-15	紙より時間がかかる	1	0.5%	3-15	自己導入からASP化を行っても、料金体系が変わらない点不満	1	0.5%	4-15	民間認証局との連携	1	0.5%	5-20	コアの枠を超えた技術支援やサポート体制の構築	1	0.5%
1-16	指名通知送付時の発注者からのファイル添付や指名競争や随意契約の公告日不要の標準化 等	5	2.7%	2-16	PIN番号入力直後の通信速度向上	1	0.5%	3-16	自治体利用者数と料金が反比例する料金体系の検討を	1	0.5%					5-21	共同利用団体へのアンケートの実施継続	1	0.5%
1-17	添付ファイル容量拡大	4	2.1%	2-17	LGWANは非常に遅いので、改札処理に時間がかかる	1	0.5%	3-17	カスタマイズ費用が負担大	1	0.5%					5-22	メールマガジン等を用いた情報提供	1	0.5%
1-18	調達案件登録完了時や参加表明書、質問等が提出された時に担当者(発注者)へメール通知。また質問回答で回答した際の参加者へのメール通知	4	2.1%	2-18	高速処理は難しいと思うが更なる最適化等を希望	1	0.5%	3-18	コアシステムを採用した運用管理業務は、特命契約となるが、競争性を確保できるようにならないか	1	0.5%					5-23	変更にあわせたマニュアルの整備	1	0.5%
1-19	署名検証の一括化、保留通知の際の認証の省略と指名通知の際の認証の付加 等	4	2.1%	2-19	処理をシンプルにし速度向上を希望	1	0.5%	3-19	問い合わせ対応の効率化が可能では？	1	0.5%					5-24	予算編成のための早期情報提供	1	0.5%
1-20	情報公開、公告文作成機能や、多様な項目による案件検索機能の具備、入札結果集計等サブシステムの追加検討	4	2.1%	2-20	案件登録に時間がかかる	1	0.5%									5-25	民間認証局への強い指導	1	0.5%
1-21	失格基準価格制度や特殊な入札方式等への対応	4	2.1%	2-21	サーバーの処理能力向上	1	0.5%									5-26	ICカードを用いない認証方法の開発	1	0.5%
1-22	保留期間中、開札速報を公開できる機能の追加、開札日が当初と落札決定日を同日にしたい 等	4	2.1%	2-22	案件数が多い時に問い合わせが集中する	1	0.5%									5-27	公的個人認証への対応	1	0.5%
1-23	技術提案提出意思確認が2社以下となり追加した場合の日程調整変更や紙による技術提案に対する通知書発行 等	3	1.6%	2-23	新環境での処理速度を認証局など関係機関と共に公表	1	0.5%									5-28	Web方式のアンケート採用について、このような最小の電子化であっても「使えるシステム」にするためには利用者のシステム環境や使い勝手の検討期間が重要という感想を持った	1	0.5%
1-24	調達案件検索の件名検索等キーの追加	2	1.1%													5-29	執行担当署名前のやり直しを可能にしてほしい	1	0.5%
1-25	随意契約の提出意思確認機能を非標準化	2	1.1%													5-30	変更にあわせたマニュアルの整備	1	0.5%
1-26	再度入札時の内訳書を添付	2	1.1%																
1-27	不必要となる機能追加による保守費用の増額がないようお願いしたい、廉価版の提供	2	1.1%																
1-28	錯誤案件、誤入力案件の削除や非表示選択	2	1.1%																
1-29	調達案件登録時の日程入力の一括化	1	0.5%																
1-30	事後審査型入札方式における電子くじの採用	1	0.5%																
1-31	工事と物品のシステムにおいて、基本的な画面展開や用語は同じにしてほしい	1	0.5%																
1-32	案件検索時には最低1つ以上の条件を指定するようにしていただきたい	1	0.5%																
1-33	専用のブラウザを開発し、IEやJREの環境に影響を受けないICカード認証が可能にならないか	1	0.5%																
1-34	制度変更等の機能追加にスムーズに対応するためソースをオープン化してもらいたい	1	0.5%																

設問1			設問2			設問3			設問4			設問5		
【コアシステムの機能等についてお聞きします。皆様のご要望を受け新たな機能として事後審査型入札方式を追加し操作においても表示画面の統一を図っています。これ以外も含め機能、操作性についてご意見、ご要望がございましたらご回答ください。】			【コアシステムの性能についてお聞きします。処理速度等についてご意見、ご要望がございましたらご回答ください。】			【コアシステムの料金についてお聞きします。料金水準、料金体系についてご意見、ご要望がございましたらご回答ください。】			【コアシステムの運営についてお聞きします。サービスセンタの問い合わせ対応等についてご意見、ご要望がございましたらご回答ください。】			【その他、ご意見、ご要望がございましたらご自由にご記入ください。】		
1-35	回復不可能なエラー等が発生するので、不完全な部分も含め検討してほしい	1 0.5%												
1-36	次画面への展開が遅いような気がする	1 0.5%												
1-37	機能改善に伴う費用負担が大きく、全てに対応できない	1 0.5%												
1-38	入札書に添付するファイルのウィルス駆除できる仕組み	1 0.5%												
1-39	パソコンがフリーズしたとき等に一定時間操作が行えなくなる(排他使用中)機能を変更して欲しい	1 0.5%												
1-40	なるべく早急に要望への対応できる方法を検討してほしい	1 0.5%												
1-41	使用文言の定義がよくわからないので用語集が欲しい	1 0.5%												

電子入札コアシステム利用者意見への対応（発注者）

大項目	中項目	項目番号	意見要望事項	要望数	率	対応案	会議時 意見
機能	機能の追加・変更	1-6	参加資格申請の添付ファイルの一括保存や通知書の一括発行、発注者からのファイル添付 等	8	4.3%	各場面における関係書類の一括ダウンロードや一括印刷については、応札者数やファイルサイズ、ファイル数等により負荷が異なるため、処理時間や操作感等も考慮し検討を行う必要があります。利用者の要望を基に適切な改善方法を検討してまいります。	
		1-12	申請書や内訳書、入札書について、一括で印刷出来る機能	8	4.3%		
		1-13	技術資料や内訳書等の一括ダウンロード機能の追加 等	7	3.7%		
		2-12	入札結果のダウンロードを即時にできるようにしてほしい	1	0.5%		
		1-5	開札処理における紙入札への一括移行、締め切り通知の自動発行、当初の設定よりも早く開札ができるようにしてほしい 等	16	8.5%	開札関連機能の充実については、各団体の御意見を十分にお聴きし、コアシステムの標準機能として提供するかの検討を進めてまいります。	○
		1-17	添付ファイル容量拡大	4	2.1%	暗号化処理のためファイル容量は3MBに制限しています。なお、コアシステムV5からは受注者側から暗号化の不要な大きな容量の技術資料を提出するためのオプションを設けています。	○
		1-11	くじ引き結果の保存、見合わせでのくじ引き機能の利用 等	8	4.3%	電子くじ機能についてはコアシステムに装備しており、この機能の利用およびカスタマイズが可能となっております。	
		1-30	事後審査型入札方式における電子くじの採用	1	0.5%		
		1-15	印刷機能のない画面での印刷機能の追加、ファイルの印刷プレビュー機能 等	6	3.2%	印刷機能の充実については、各団体の意見・要望を参考にコアシステムの標準機能として提供するか検討を行ってまいります。	
		1-16	指名通知送付時の発注者からのファイル添付や指名競争や随意契約の公告日不要の標準化 等	5	2.7%	指名関連機能の充実については、各団体の意見・要望を参考にコアシステムの標準機能として提供するか検討を行ってまいります。	○
		1-19	署名検証の一括化、保留通知の際の認証の省略と指名通知の際の認証の付加等	4	2.1%	署名検証の一括化や認証のタイミングの見直し等は、各団体の意見・要望を参考に検討を行ってまいります。	
		1-21	失格基準価格制度や特殊な入札方式等への対応	4	2.1%	これまで実施してきた入札制度の変更、追加の対応同様に利用団体の要望等を伺いながら検討を行ってまいります	
		1-22	保留期間中、開札速報を公開できる機能の追加、開札日が当初と落札決定日を同日にしたい 等	4	2.1%	事後審査機能については平成22年5月にリリースしていますので本機能を利用したカスタマイズの検討をお願いいたします。	
		1-23	技術提案提出意思確認が2社以下となり追加した場合の日程調整変更や紙による技術提案に対する通知書発行 等	3	1.6%	技術提案やプロポーザル関連機能の充実については、各団体の意見・要望を参考にコアシステムの標準機能として提供するか検討を行ってまいります。	
		1-26	再度入札時の内訳書を添付	2	1.1%	再入札時の内訳書の添付については、これまでに利用団体の要望調査を行ったところ少数の賛同でした。引き続き要望を確認し、検討を行ってまいります。	
		1-18	調達案件登録完了時や参加表明書、質問等が提出された時に担当者（発注者）へメール通知。また質問回答で回答した際の参加者へのメール通知	4	2.1%	メール通知はメールソフトとの関係で正しく送信されない等の障害対応を事前に定めておく必要があるため、発注者のご判断により採用できる補助機能としています。	
		1-4	質問回答機能で回答の修正や紙質問を登録、発注者による公開、ファイル添付、入力文字数の増加 等	17	9.0%	質問回答機能の強化については現在検討中となっており、一部の機能については平成22年度に提供する予定です	
		1-7	総合評価落札方式における落札決定時の評価値検証機能、入札調書の総合評価方式への対応 等	8	4.3%	総合評価機能については利用者のご意見をふまえて、これまで提供してきた機能の見直しも含めた検討を行なってまいります。	○
		1-20	情報公開、公告作成機能や、多様な項目による案件検索機能の具備、入札結果集計等サブシステムの追加検討	4	2.1%	電子入札で利用されたデータを再利用するサブシステム等については、利用団体の要望をふまえ、検討を行なってまいります。	○
		5-6	データを抜く方法の標準装備化	1	0.5%		
		1-9	物品・役務機能の充実、質問回答機能の利用、ICカードを使わない機能の拡充、公示期間中の案件修正 等	8	4.3%	物品・役務機能の追加や変更は、工事・業務や共通機能を優先させ、これまで対象外としていました。今後は、各団体の要望の強い機能から充実を図ってまいります。	○
		1-31	工事と物品のシステムにおいて、基本的な画面展開や用語は同じにしてほしい	1	0.5%		
		1-1	操作のキャンセル機能、通知書の一括発行等、操作性の見直し	21	11.2%	コアシステムの発注者画面を含むユーザインタフェースについては、各発注機関によりカスタマイズ可能な自由度の高いものとなっています。画面や操作性、入力項目等については、利用しやすい等の情報収集に努め、カスタマイズ手順書等に反映してまいります。また、利用者からの意見を参考に、入力ミスや勘違い等が起きやすい部分を洗い出し、誤操作防止の工夫も検討してまいります。	
		1-2	各種画面等における入力欄の文字数増加等、入力欄や表示項目の見直し	20	10.6%		
		1-24	調達案件検索の件名検索等キーの追加	2	1.1%		
		1-28	錯誤案件、誤入力案件の削除や非表示選択	2	1.1%		
	1-29	調達案件登録時の日程入力の一括化	1	0.5%			
	1-32	案件検索時には最低1つ以上の条件を指定するようになっていただきたい	1	0.5%			
	5-7	メニューやボタン配置の最適化	1	0.5%			
	5-8	操作時のポップアップによる確認	1	0.5%			
	5-9	開札結果通知の入力文字数の増加	1	0.5%			
	5-10	執行担当署名前のやり直しを可能にほしい	1	0.5%			
1-25	随意契約の提出意思確認機能を非標準化	2	1.1%				
1-8、2-5	誤操作防止の強化	14	7.4%				
	誤操作防止						

電子入札コアシステム利用者意見への対応（発注者）

大項目	中項目	項目番号	意見要望事項	要望数	率	対応案	会議時 意見
システム要件	システム要件の見直し	1-33	専用のブラウザを開発し、IEやJREの環境に影響を受けないICカード認証が可能にならないか	1	0.5%	Javaを利用しない方式に変更することは、現行のシステム要件の大幅な変更及び発注機関、受注者、認証機関全てに影響する大規模な改修を伴うため、これまでは実施困難と考えておりました。今回のアルゴリズム移行対応の中で、Javaを利用しない方式も含め、より有効な方式を検討してまいります。	○
	Javaの利用に対する意見	2-6	Javaの読み込み等に時間がかかる	5	2.7%		
	新OSやブラウザ等への早急な対応	2-13	OSやブラウザ等の機種に依存しないシステム作りを希望	1	0.5%		
		5-5	IT環境の変化に強いシステム作りを希望	2	1.1%		
		1-10	Windows7への対応、64bit版対応、最新OS等への迅速な対応 等	8	4.3%		
		2-14、4-1、5-1	最新OS等への迅速な対応	15	8.0%		
	5-11	OSやブラウザの適用範囲（Mac等）の拡大を希望	1	0.5%	新OSやブラウザ等環境対応については、コアシステム以外に、認証機関、発注機関、そして応札者の3者が全て対応する必要があります。これらの関係機関との調整を一度迅速化できるよう努めてまいります。なお、新OS（クライアント）の対応については、事前にベータ版等での確認作業を行ったうえで、さらに、正規の製品が販売されてから最終確認をとりますので、新製品の発売から時間を要することとなります。		○
ソースのオープン化	1-34	制度変更等の機能追加にスムーズに対応するためソースをオープン化してもらいたい	1	0.5%	ソースのオープン化はソフトウェアの品質向上の観点から実施する場合以外は、セキュリティの脆弱化の危険性が急増する等の問題点もあり、オープン先の範囲や守秘義務の担保方法等に関し、きわめて慎重に検討する必要があります。なお、カスタマイズ機能についてはニーズに応じて追加・変更が円滑に実施できるよう、ソースプログラム、実装手順書を発注機関に提供してまいります。		
性能	処理に時間がかかる、性能に不満を感じている	1-35	回復不可能なエラー等が発生するので、不完全な部分も含め検討してほしい	1	0.5%	エラーや不具合等については開発ベンダーとご相談いただき、コアシステムに関する事項についてはコアシステムサービスセンターにお問合せください。	
		2-4	表示が遅くエラーとなる	7	3.7%		
		1-36	次画面への展開が遅いような気がする	1	0.5%		
		2-1	処理速度遅い	26	13.8%		
		2-2	処理速度を速くしてほしい	16	8.5%		
		2-10	紙移行の処理に時間がかかる	3	1.6%		
		2-15	紙より時間がかかる	1	0.5%		
		2-18	高速処理は難しいと思うが更なる最適化等を希望	1	0.5%		
		2-19	処理をシンプルにし速度向上を希望	1	0.5%		
		5-12	処理速度向上	1	0.5%		
		2-7	認証・署名に時間がかかる	4	2.1%		
		2-16	PIN番号入力直後の通信速度向上	1	0.5%		
		2-17	LGWANIは非常に遅いので、改札処理に時間がかかる	1	0.5%		
		2-20	案件登録に時間がかかる	1	0.5%		
		2-3	サーバ接続時間を要している	8	4.3%		
		2-21	サーバの処理能力向上	1	0.5%		
		2-8	案件数や利用者が多い時に遅い	4	2.1%		一度に多数の案件を開札したり、入札締切り時間が重なることによる応札者の集中は、平準化や開札時間をずらす等、運用方法を見直すことで回避できる場合があります。運用面の再確認も行っていただくようお願いいたします。
2-9	利用回線や端末により速度が異なる	3	1.6%	発注者の環境では、システムを内部に置く場合と外部のデータセンター等を利用している場合で回線の状況が異なります。利用環境の確認とそれぞれに合わせた環境を整えていただく必要があると考えます。			

電子入札コアシステム利用者意見への対応(発注者)

大項目	中項目	項目番号	意見要望事項	要望数	率	対応案	会議時意見
料金	料金の透明性とサービス維持	3-2	料金の透明化、使途の明示	9	4.8%	コアシステムの料金は、開発・調査・改良・保守・ユーザサポート等に必要な費用を利用団体の皆様に適切に負担いただくことから設定されており、収益を目的とした一般的なソフトウェア料金とは異なります。現行の料金水準の引き上げを行わないよう配慮しつつ、今後のサービスの維持・向上に努力してまいります。	○
		3-10	サービス低下しないようにしてほしい	2	1.1%		
	カスタマイズ費用を含む負担軽減	1-14	各ベンダーが拡張モジュールを取り入れやすいような工夫、カスタマイズ領域での個々の機能を選択できる形で提供 等	7	3.7%	コアシステムでは、これまでコア部のバージョンアップによる新機能の追加を行ってまいりました。こうして修正されたコアシステムをシステムに組み入れるために利用団体側も膨大な費用が必要になるとの意見を参考に、現在はカスタマイズ手順書による機能追加の方式に切り替えております。今後も引き続き利用団体の既存システムを有効に利用できるよう配慮し、新機能の追加を行いやすい方法や追加モジュールの提供方法等を検討してまいります。	○
		1-37	機能改善に伴う費用負担が大きく、全てに対応できない	1	0.5%		
		3-17	カスタマイズ費用が負担大	1	0.5%		
		3-18	コアシステムを採用した運用管理業務は、特命契約となるが、競争性を確保できるようにならないか	1	0.5%		
		5-15	カスタマイズしやすい、より汎用性向上	1	0.5%		
		5-16	カスタマイズした内容をコアシステムの標準にしてほしい	1	0.5%		
	契約方法等について	4-10	ASP利用の場合の支払をベンダー経由としてほしい	1	0.5%	契約方法や支払方法については、ある程度柔軟に対応できますので、契約時にご相談ください。	
	料金が高い、引き下げ	3-1	保守料の引き下げ	11	5.9%	暗号アルゴリズム移行対応、コアシステム機能の充実、ユーザサポートの迅速化等のために現行の料金水準を維持することが必要な状況となっております。	○
		3-3	高い	9	4.8%		
		3-4	料金の見直し	9	4.8%		
		3-5	レンタル料の引下げ	6	3.2%		
		3-6	財政的に厳しいので値下げ希望	4	2.1%		○
	料金体系の見直し	1-27	不必要となる機能追加による保守費用の増額がないようお願いしたい、廉価版の提供	2	1.1%	利用団体の意見や要望に基づき、共通的な機能として複数の発注機関の利用を確認し、無駄のない機能追加を行ってまいります。  暗号アルゴリズム移行対応、コアシステム機能の充実、ユーザサポートの迅速化等のために現行の料金水準を維持することが必要な状況となっております。なお、近年のASPやSaaS型の運用形態の増加及び少数・少額利用の発注機関の利用促進にも配慮した新しい料金体系の検討を行ってまいります。	○
		3-7	少額利用の範囲見直し	3	1.6%		
		3-8	利用促進のため値下げ	2	1.1%		
		3-9	少額利用の細分化	2	1.1%		
		3-11	県の料金が共同利用する市町村に比べて高い	1	0.5%		
		3-12	利用しているコアのバージョンにより保守料金の設定	1	0.5%		
		3-13	プログラム著作物許諾料が件数比例で増加するのは疑問	1	0.5%		
		3-14	廉価版の提供や県民数に応じた料金体系	1	0.5%		
		3-15	自己導入からASP化を行っても、料金体系が変わらない点が不満	1	0.5%		
		3-16	自治体利用者数と料金が反比例する料金体系の検討を	1	0.5%		
		5-3	料金体系の見直し	3	1.6%		
	5-13	料金に見合った継続的システム改修の実施	1	0.5%			
	5-14	廉価版等の提供	1	0.5%			

電子入札コアシステム利用者意見への対応(発注者)

大項目	中項目	項目番号	意見要望事項	要望数	率	対応案	会議時 意見	
サポート	危機管理体制の充実	4-8	危機管理体制の充実	2	1.1%	各団体の保有するシステムにおける危機管理については各団体をお願いするとともに、コアシステム(ソフトウェア)としての危機管理体制の充実を図ってまいります。	○	
	サポートに対する不満	4-2	回答が遅い	3	1.6%	問合せ対応については、問合せ内容によっては調査等に時間を要する場合があります。迅速な回答に努めるとともに、途中経過の連絡等を実施していきたいと考えます。サービスセンタの利用はメールで随時受付しており、通常は受付連絡を当日もしくは翌営業日までに行っております。		
		4-3	回答予定や状況報告	2	1.1%			
		4-5	問合せ票の簡素化	2	1.1%			
		4-6	利用時間の延長	2	1.1%			
		4-11	コアと開発ベンダーの問合せ窓口の一本化	1	0.5%			
		5-17	サービスセンタの早期回答、中間報告等を希望	1	0.5%			
		4-12	ホームページが見つけにくい	1	0.5%			
	サポートの強化・充実	4-4	HPの更新等をメールで周知	2	1.1%	コンソーシアムのHPからのリンクの見直しや周知の方法を検討いたします		
		5-22	メールマガジン等を用いた情報提供	1	0.5%			
		3-19	問い合わせ対応の効率化が可能では？	1	0.5%	各団体への回答・対応実績の分析・利用等により、問い合わせ対応の効率化に努めています。同じような事象であっても利用団体が異なる場合は別途調査が必要となり、お時間を頂く場合があります。		
		4-7	変更にあわせたマニュアルの整備	2	1.1%	コアシステムの機能追加等に関するマニュアルの提供はリリースと合わせて行っております。利用者の意見等を参考にし、次回リリース以降のマニュアル等の充実にも努めてまいります。		
		4-13	電子と紙、両方に対応したチュートリアル作成	1	0.5%			
		5-18	受注者向けの分かりやすいマニュアルの提供	1	0.5%			
		5-23	変更にあわせたマニュアルの整備	1	0.5%			
		4-9	推奨環境意外への類似事例等の情報提供	2	1.1%			
		4-14	カスタマイズに対するサポートの柔軟性の向上	1	0.5%	カスタマイズ手順書によらないカスタマイズ、コアシステムの範囲外の機能変更等は、実施者の自己責任となるため、まず、開発ベンダーにご相談いただきますようお願いいたします。これらは他の発注機関の参考になり、討議によって柔軟なサポートの検討も必要となる場合がありますので、ユーザ会議での情報提供を併せてお願いします。	○	
		5-20	コアの枠を超えた技術支援やサポート体制の構築	1	0.5%			
		1-40	なるべく早急に要望への対応できる方法を検討してほしい	1	0.5%			
		情報提供の強化	5-4	ユーザー会議等の意見等反映の継続	2	1.1%	入札制度の対応やユーザー意見の反映については、制度の確定とその制度の利用範囲や利用者の採用状況、また利用者の要望等を基に検討し決定しております。対応項目等については随時情報提供を行ってまいります。	○
5-19			入札制度対応の基本的な対応方針	1	0.5%			
5-21	共同利用団体へのアンケートの実施継続		1	0.5%	共同利用団体へのアンケート調査については、共同利用の運営主体の意向を確認しつつ、継続実施について検討してまいります。			
2-23	新環境での処理速度を認証局など関係機関と共に公表		1	0.5%	コアシステムを利用いただいている団体への有意義な情報は、随時提供させていただくように努めております。今後の開発予定等についても8月末を目処に情報提供しておりますのでご参考ください。	○		
その他	5-24	予算編成のための早期情報提供	1	0.5%				
	1-41	使用文言の定義がよくわからないので用語集が欲しい	1	0.5%	用語については、用語集を準備しておりますのでご確認ください			
	5-28	Web方式のアンケート採用について、このような最小の電子化であっても「使えるシステム」にするためには利用者のシステム環境や使い勝手の検討期間が重要という感想を持った	1	0.5%	アンケート結果のデータ化作業における間違い防止、回収・集計・分析の迅速化のためWeb方式としました。ご理解のほどお願いいたします。			
運用	運用上の問題	1-38	入札書に添付するファイルのウイルス駆除できる仕組み	1	0.5%	運用に関する問題については、各団体の運用規定やセキュリティポリシー等を基に、業務において最適な状況をご検討いただきますようお願いいたします。		
		2-22	案件数が多い時に問い合わせが集中する	1	0.5%			
		1-39	パソコンがフリーズしたとき等に一定時間操作が行えなくなる(排他使用中)機能を変更して欲しい	1	0.5%		不正操作を防止するための仕様です。タイムアウト時間を長くすると排他使用中の時間が長くなります。	
		2-11	タイムアウト時間の延長	2	1.1%			
関係機関との連携	認証関連機関等との連携強化	4-15	民間認証局との連携	1	0.5%	コアシステムを利用いただく上で、LGPKIや民間認証局との連携は必要不可欠な要素です。各機関の状況に依存するところが大きいですが、引き続き各機関との情報交換等を密に行い迅速な対応に努めます。また、技術の進歩等に伴う環境の変化にも注視し新しい技術の利用等も検討してまいります。	○	
		5-2	LGPKIとの密な対応	4	2.1%			
		5-25	民間認証局への強い指導	1	0.5%			
		5-26	ICカードを用いない認証方法の開発	1	0.5%			
		5-27	公的個人認証への対応	1	0.5%			
各団体のシステムに関する意見	各団体のシステムに関する意見	1-3	各団体のシステムにおける内部システムとの連携や運用に関する意見 等	18	9.6%	各団体の保有するシステムとの連携等については、各団体の運用形態やセキュリティポリシー等を基に、業務において最適な状況をご検討いただきますようお願いいたします。		

電子入札コアシステム利用者意見への対応(発注者)

大項目	中項目	項目番号	意見要望事項	要望数	率	対応案	会議時意見
-----	-----	------	--------	-----	---	-----	-------

利用者会議でのみだされた意見(発注者)

大項目	中項目	項目番号	意見要望事項	要望数	率	対応案	会議時意見
利用者会議のみの意見	—	A-1	現在のJACICが主体となって行っている方式が望ましい。国の関与が強くなりすぎることはコアシステムの中立性が損なわれるので、現在の運営方式が良いと思う。	—	—	コアシステムの中立性及び著作権については、利用者のご意見を尊重しJACICとしても同様の考えをもっております。今後の国の方針・対応に強い関心を持っております。	○
利用者会議のみの意見	—	A-2	コアシステムの著作権を国が持つことは避けるべき。全国共通の基盤システムであるコアシステムの意義が失われてしまう。	—	—		○
利用者会議のみの意見	—	A-3	システムの改良も必要であり、将来を見据えた予算の確保、計画的な改良の実施を要望する。	—	—	ご意見のとおり、将来を見据えた予算の確保、計画的な改良の実施に努めてまいります。	○
利用者会議のみの意見	—	A-4	利用者会議とユーザ会議の位置づけを明確にし、地方に負担がかからないようにしてほしい。	—	—	今後とも両会議におけるご意見は尊重してまいります。地方への負担がかかるようであれば、ご意見をいただきますようお願い申し上げます。	○
利用者会議のみの意見	—	A-5	コアシステムをベースにして、各自治体の実情を考慮したカスタマイズ部を加えられる自由度を確保できることが望ましい。	—	—	カスタマイズ機能についてはニーズに応じて追加・変更が円滑に実施できるよう、ソースプログラム、実装手順書を発注機関に提供してまいります。	○
利用者会議のみの意見	—	A-6	最近のヘルプデスクの問い合わせ内で、YahooやGoogleなどの各種ツールバーの問い合わせが非常に多いので非常に困っています。回答としては基本的に削除をしてもらっていますが、各種ツールバーはJREやAcrobatなどのオプションとして追加インストールされてしまうこともあるので、削除した場合でも再度問い合わせが来てしまうことがあります。問い合わせを減らすため、電子入札の初期画面で設定が行われているかどうかのチェックを行う機能を追加することはできませんか。できない場合は、表示されるエラーメッセージに日本語でエラーメッセージを表記できるようにカスタマイズ機能を追加できませんか。	—	—	各種ツールバーの自動組込みで問題が発生することについては認識しています。今後、類似的自動組込みによる障害等が発生する懸念が続くため、ご指摘のような対応を検討してまいります。	○

## 電子入札コアシステムアンケート調査について

### 1. 受注者（入札参加者）

#### 1) 実施要領

電子入札コアシステムに関する受注者（入札参加者）からの意見収集を行うため、Web 形式のアンケート調査依頼を 9 月 29 日（水）から 10 月 15 日（金）の期間で実施した。

受注者（入札参加者）に対するアンケートの案内は、コリンズ・テクリスのアンケート案内と同時に行っている。なお、本アンケートは、上記の期間 J A C I C のホームページにて広く一般に公開し、記名式とすることで誰でも回答ができるものとなっていた。

#### 2) アンケート内容（それぞれ 250 字以内の自由記述方式）

設問 1 電子入札で入札を行っている発注機関について

【電子入札で入札を行っている主な発注機関名をご記入下さい。（複数可）】

設問 2 電子入札システムの機能について

【ご利用の電子入札システムの機能等についてお聞きします。機能、操作性についてご意見、ご要望がございましたらご回答ください。】

設問 3 電子入札システムの性能について（処理速度等）

【ご利用の電子入札システムの性能についてお聞きします。処理速度等についてご意見、ご要望がございましたらご回答ください。】

設問 4 電子入札システムの利用時間について

【ご利用の電子入札システムでの入札作業、送信のために利用されている主な時間帯（24 時間単位）についてご回答ください。また、ご意見、ご要望がございましたらご回答ください。】

設問 5 電子入札システムの効果について（経費節減等）

【ご利用の電子入札に参加した場合の旅費や人件費等の経費の増・節減効果等について回答願います。またご意見、ご要望がございましたらご回答ください。】

設問 6 自由意見（その他、ご意見、ご要望

【その他、ご意見、ご要望がございましたらご自由にご記入ください。】

#### 3) 回答結果

本アンケートには、受注者（入札参加者）472 社から回答をいただいた。

受注者（入札参加者）からの意見については、各発注機関が運用している電子入札システムに対するものとしてとらえ、これらの意見・要望をコアシステム利用中の発注機関に伝えるものとする。

なお、設問 1 については、今後の参考にさせていただくこととし、本集計には含めない。今回得られた回答内容について、概ね次ページ以下のように整理した。

**設問2 電子入札システムの機能について**

設問2については、472件の回答のうち258件で回答をいただいた。機能面については、添付ファイルの容量拡大（29件：6%）や検索機能の充実（20件：4%）、新OSやブラウザ等への早急な対応（19件：4%）等が上位に位置づけられた。

図1 設問2 回答分類図

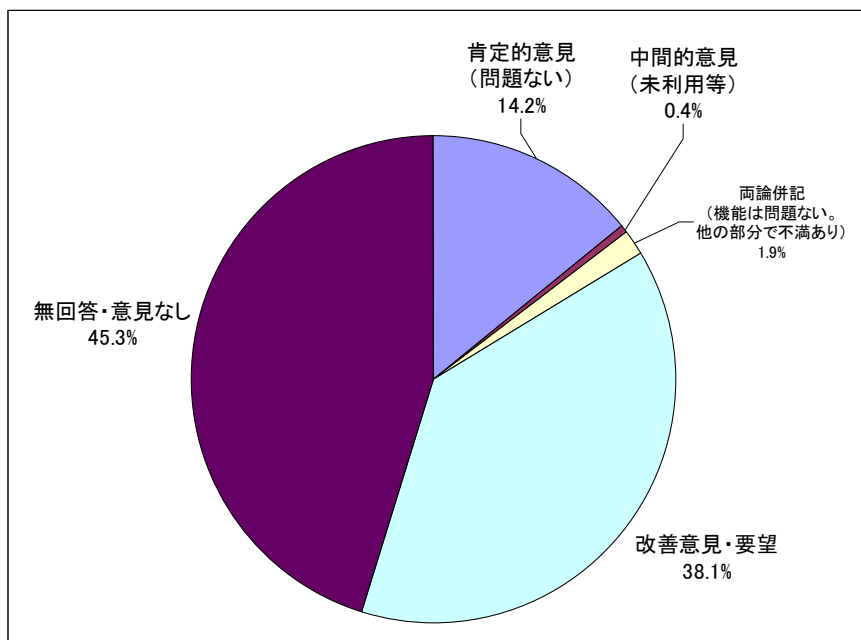
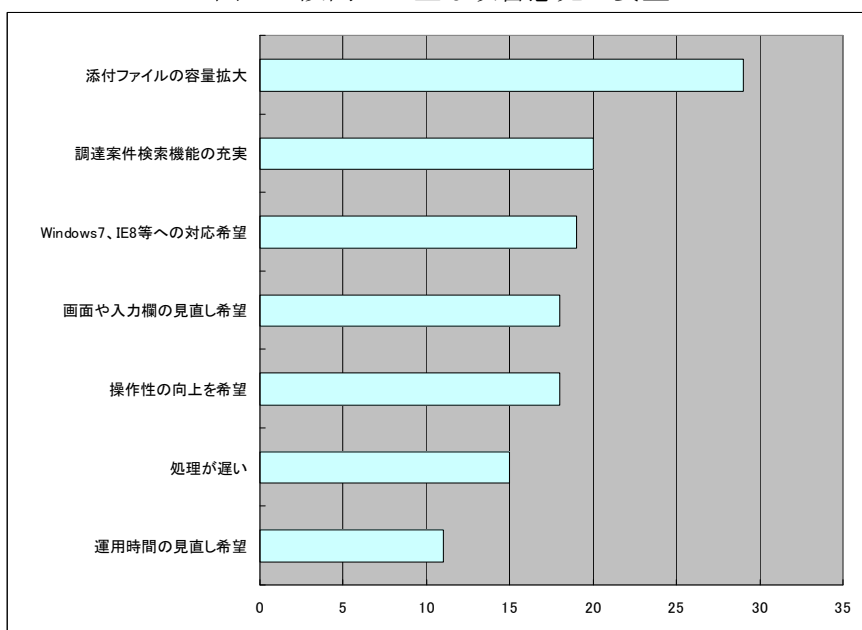


図2 設問2 主な改善意見・要望



### 設問3 電子入札システムの性能について

設問3については、472件の回答のうち305件で回答をいただいた。性能面については、処理や立ち上げに時間がかかる、反応が遅い、遅い等、速度に対する不満が多かった。

図3 設問3 回答分類図

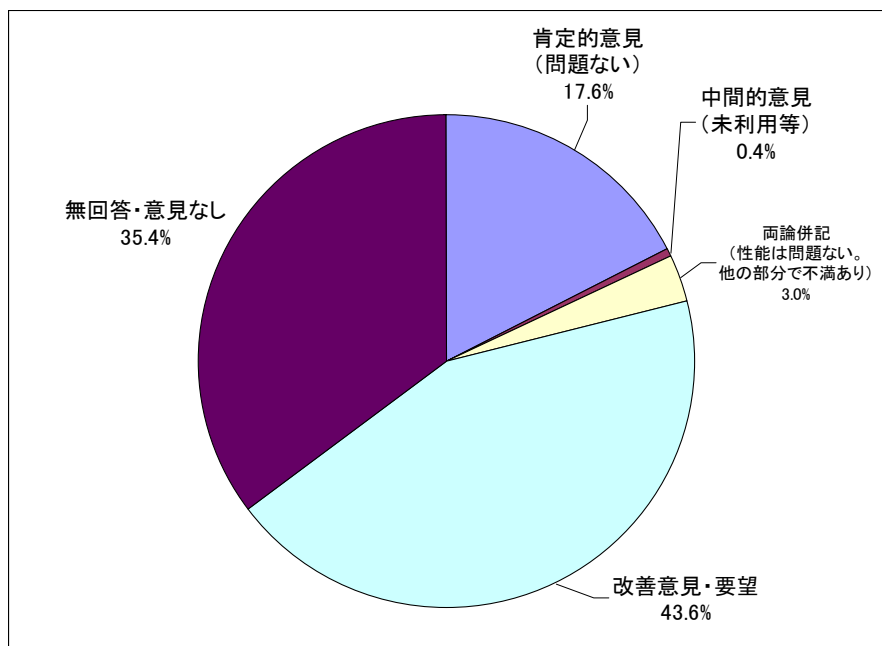
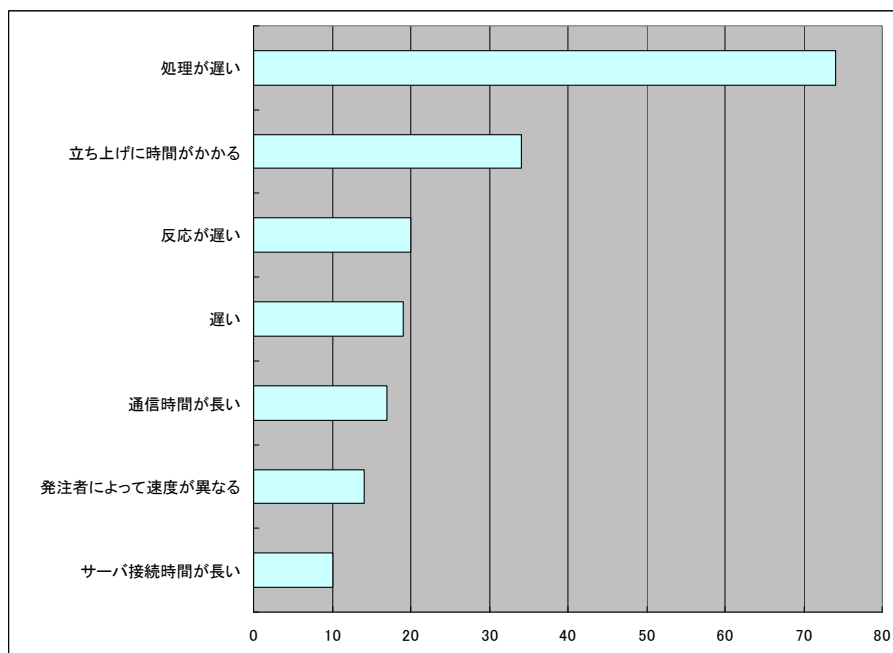


図4 設問3 主な改善意見・要望



#### 設問4 電子入札システムの利用時間について

設問4については、472件の回答のうち434件で回答をいただいた。

利用時間については、時間内で入札を行っているものの、早朝や夜間の時間延長や24時間運用、土日・祝日の運用等、運用時間の見直し、利用時間が短い等の意見も26%（124件）あった。

図5 設問4 回答分類図

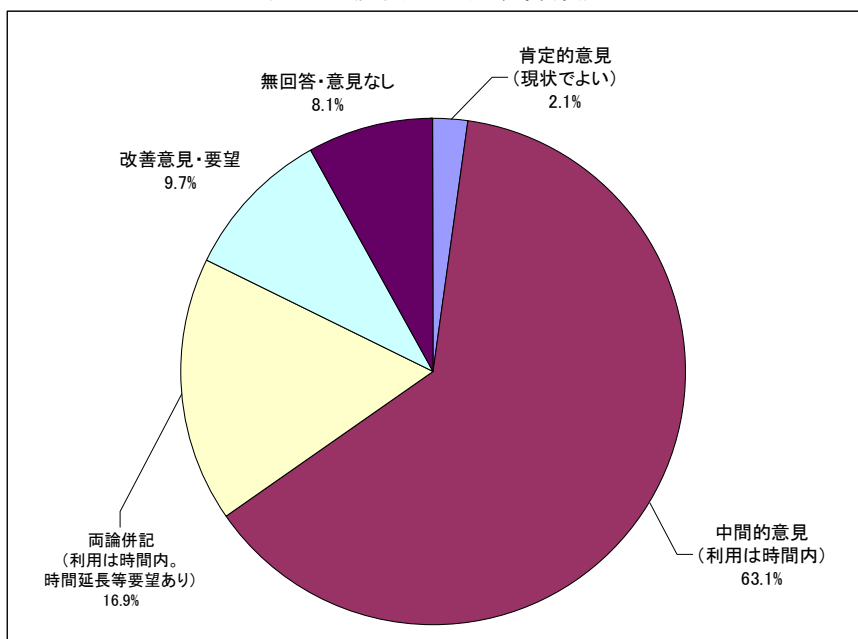
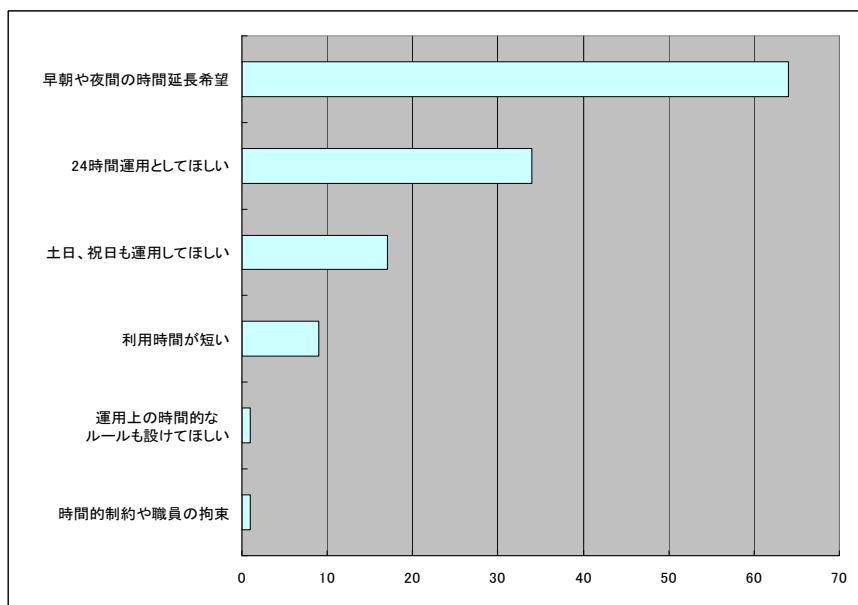


図6 設問4 主な改善意見・要望



**設問5 システムの効果について**

設問5については、472件の回答のうち384件で回答をいただいた。

電子入札による、旅費の削減効果は68%（323件）が感じているが、人件費やその他の経費についてはPC等の機器購入費用や知識習得等で相殺され効果を感じないとの意見もあった。

また、入札は電子となっているものの資料の配布や閲覧が電子化されていないため、結局のところ庁舎へ足を運ぶことになり非効率である等の意見もあった。

図7 設問5 回答分類図

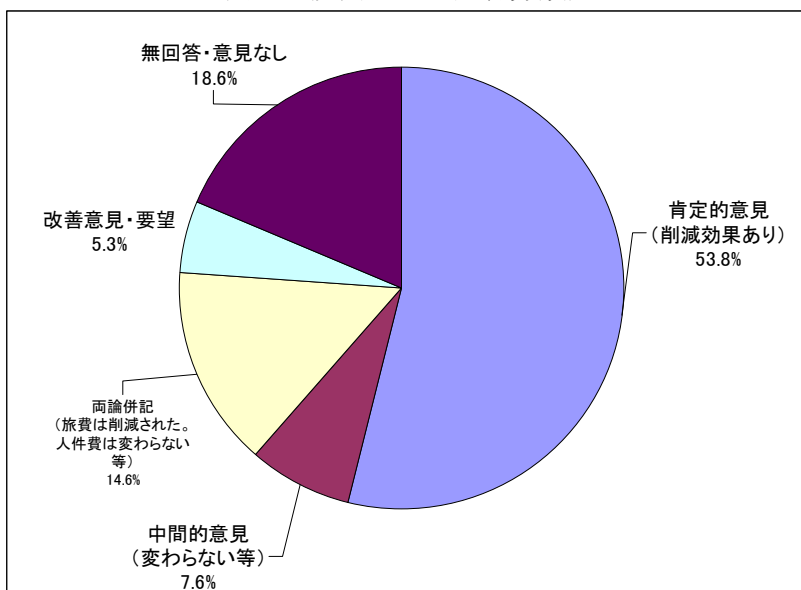
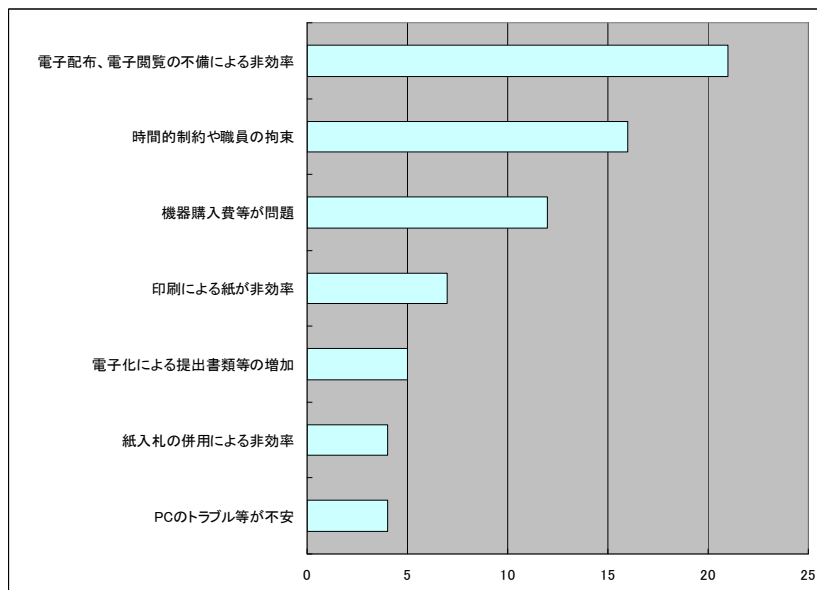


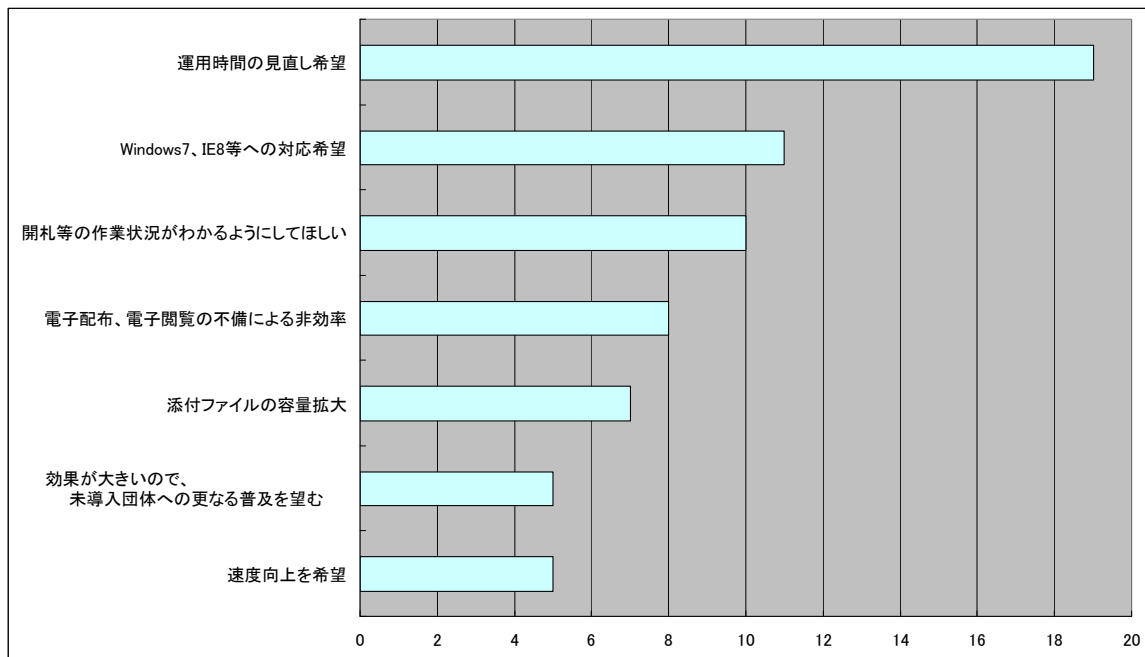
図8 設問5 主な改善意見・要望



## 設問6 自由意見について

472件の回答のうちの140件で自由意見をいただいた。主なご意見は以下のとおりであった。

図9 設問6 主な自由意見



受注者集計表(電子入札コアシステム)

回答数	472
-----	-----

有回答	459	97.2%
-----	-----	-------

無回答 (全問回答なし又は意見なし)	13	2.8%
-----------------------	----	------

設問2			設問3			設問4			設問5			設問6							
【ご利用の電子入札システムの機能等についてお聞きします。機能、操作性についてご意見、ご要望がございましたらご回答ください。】			【ご利用の電子入札システムの性能についてお聞きします。処理速度等についてご意見、ご要望がございましたらご回答ください。】			【ご利用の電子入札システムでの入札作業、送信のために利用されている主な時間帯(24時間単位)についてご回答ください。また、ご意見、ご要望がございましたらご回答ください。】			【ご利用の電子入札に参加した場合の旅費や人件費等の経費の増・節減効果等について回答願います。またご意見、ご要望がございましたらご回答ください。】			【その他、ご意見、ご要望がございましたらご自由にご記入ください。】							
	数	%		数	%		数	%		数	%		数	%					
有回答	258	54.7	有回答	305	64.6	有回答	434	91.9	有回答	384	81.4	有回答	140	29.7					
○肯定的意見	67	14.2	○肯定的意見	83	17.6	○肯定的意見	10	2.1	○肯定的意見	254	53.8								
△中間的意見	2	0.4	△中間的意見	2	0.4	△中間的意見	298	63.1	△中間的意見	36	7.6								
○●両論併記	9	1.9	○●両論併記	14	3.0	○●両論併記	80	16.9	○●両論併記	69	14.6								
●改善意見・要望	180	38.1	●改善意見・要望	206	43.6	●改善意見・要望	46	9.7	●改善意見・要望	25	5.3								
無回答・意見なし	214	45.3	無回答・意見なし	167	35.4	無回答・意見なし	38	8.1	無回答・意見なし	88	18.6	無回答・意見なし	332	70.3					
回答内容	数	278	回答内容	数	325	回答内容	数	514	回答内容	数	452	回答内容	数	139					
○良い、問題なし等	76	16.1%	○良い、問題なし等	94	19.9%	○現状でよい、問題なし等	10	2.1%	○良い、削減効果あり等	323	68.4%	6-1	運用時間の見直し希望	19	4.0%				
												6-2	Windows7、IE8等への対応希望	11	2.3%				
△未利用など	2	0.4%	△未利用など	2	0.4%	△利用は時間内	230	48.7%	○△費用削減効果有、人件費は変わらない等	11	2.3%	6-3	開札等の作業状況がわかるようにしてほしい	10	2.1%				
						△利用は午前中	97	20.6%	△変わらない、変化なし等	25	5.3%	6-4	電子配布、電子閲覧(ダウンロードシステム)の不備による非効率	8	1.7%				
						△利用は午後	35	7.4%				6-5	添付ファイルの容量拡大	7	1.5%				
						△入札時間は不特定	14	3.0%				6-6	効果が大きいので、未導入団体への更なる普及を望む	5	1.1%				
						△未利用など	2	0.4%				6-7	速度向上を希望	5	1.1%				
2-1	添付ファイルの容量拡大	29	6.1%	3-1	処理が遅い	74	15.7%	4-1	早朝や夜間の時間延長希望	64	13.6%	5-1	電子配布、電子閲覧(ダウンロードシステム)の不備による非効率	21	4.4%	6-8	メールによる通知の強化等	4	0.8%
2-2	調達案件検索機能の充実	20	4.2%	3-2	立ち上げに時間がかかる	34	7.2%	4-2	24時間運用としてほしい	34	7.2%	5-2	時間的制約や職員の拘束	16	3.4%	6-9	開札時の即時結果公開を希望	4	0.8%
2-3	Windows7、IE8等への対応希望	19	4.0%	3-3	反応が遅い	20	4.2%	4-3	土日、祝日も運用してほしい	17	3.6%	5-3	機器購入費等が問題	12	2.5%	6-10	発注者システムの統一化	4	0.8%
2-4	画面や入力欄の見直し希望	18	3.8%	3-4	遅い	19	4.0%	4-4	利用時間が短い	9	1.9%	5-4	印刷による紙が非効率	7	1.5%	6-11	事業仕分けや著作権に関する意見	4	0.8%
2-5	操作性の向上を希望	18	3.8%	3-5	通信時間が長い	17	3.6%	4-5	運用上の時間的なルール(時間外にメールが届いたりしないように)も設けてほしい	1	0.2%	5-5	電子化による提出書類等の増加	5	1.1%	6-12	認証・ICカードの利用に対する不満	3	0.6%
2-6	処理が遅い	15	3.2%	3-6	発注者によって速度が異なる	14	3.0%	4-6	時間的制約や職員の拘束	1	0.2%	5-6	紙入札の併用が非効率	4	0.8%	6-13	再入札の際に時間的余裕がほしい	3	0.6%
2-7	運用時間の見直し希望	11	2.3%	3-7	サーバ接続時間が長い	10	2.1%				5-7	PCのトラブル等が不安	4	0.8%	6-14	操作性の向上を希望	3	0.6%	
2-8	画面遷移に対する意見	10	2.1%	3-8	javaポリシー設定の登録発注機数が増えた場合のシステムの立ち上がり時間が心配等	10	2.1%				5-8	発注者とのコミュニケーション減少による情報の量減	2	0.4%	6-15	有効なシステムなので継続するように動めてほしい	3	0.6%	
2-9	発注者システムの統一化	11	2.3%	3-9	添付ファイルの容量拡大	5	1.1%				5-9	環境設定やPCの設定等に手間	2	0.4%	6-16	より良いシステムを目指してほしい	3	0.6%	
2-10	メールによる通知の強化等	6	1.3%	3-10	Windows7、IE8等への対応希望	4	0.8%				5-10	電子入札担当が限定される(スキルや年齢等)	2	0.4%	6-17	画面や入力欄の見直し希望	2	0.4%	
2-11	認証・ICカードの利用に対する不満	5	1.1%	3-11	フリーズやエラーが心配	4	0.8%				5-11	電子配布、電子閲覧(ダウンロードシステム)の不備による非効率	2	0.4%	6-18	質問回答機能の充実を希望	2	0.4%	
2-12	印刷機能の充実	5	1.1%	3-12	検索に時間がかかる	4	0.8%				5-12	内部の電子入札対応や機器等の維持管理費用が増えた	2	0.4%	6-19	最新OS等の更新に関する情報提供の充実	2	0.4%	
2-13	質問回答機能の充実を希望	4	0.8%	3-13	認証に時間がかかる	3	0.6%				5-13	認証局への要望(料金引下げ、期間の延長等)	2	0.4%	6-20	電子入札担当が限定される(スキルや年齢等)	2	0.4%	
2-14	総合評価機能の充実	3	0.6%	3-14	電子配布、電子閲覧(ダウンロードシステム)の不備による非効率	3	0.6%				5-14	市町村まで普及しないと効果は少ない	1	0.2%	6-21	PCのトラブル等が不安	2	0.4%	
2-15	ダウンロードしたファイルが開けなかったり、読めなかったりする	3	0.6%	3-15	時間的制約や職員の拘束	2	0.4%				5-15	設計変更や見積合せの電子化希望	1	0.2%	6-22	運用上の時間的なルール(時間外にメールが届いたりしないように)も設けてほしい	2	0.4%	
2-16	Javaの接続がうまくいかない時がある	2	0.4%	3-16	開札時間をずらしてほしい	1	0.2%				5-16	電子による質問回答の普及を希望	1	0.2%	6-23	もう少し簡単にできないか	1	0.2%	
2-17	環境設定やPCの設定等に手間	2	0.4%	3-17	総合評価の開札に時間がかかる	1	0.2%				5-17	早朝や夜間の時間延長希望	1	0.2%	6-24	総合評価の手順書を整えて操作性を高めてほしい	1	0.2%	
2-18	検証機能を活用してほしい	2	0.4%	3-18	再入札の際に時間的余裕がほしい	1	0.2%				5-18	24時間運用としてほしい	1	0.2%	6-25	調達案件一覧、入札案件一覧にて各案件の入札日表示してほしい	1	0.2%	

設問2				設問3				設問4				設問5				設問6			
【ご利用の電子入札システムの機能等についてお聞きします。機能、操作性についてご意見、ご要望がございましたらご回答ください。】				【ご利用の電子入札システムの性能についてお聞きします。処理速度等についてご意見、ご要望がございましたらご回答ください。】				【ご利用の電子入札システムでの入札作業、送信のために利用されている主な時間帯(24時間単位)についてご回答ください。また、ご意見、ご要望がございましたらご回答ください。】				【ご利用の電子入札に参加した場合の旅費や人件費等の経費の増・節減効果等について回答願います。またご意見、ご要望がございましたらご回答ください。】				【その他、ご意見、ご要望がございましたらご自由にご記入ください。】			
2-19	一面ですべての発注期間を閲覧・ログインできるようなシステムにしてほしい	1	0.2%	3-19	専用ブラウザがあってもよいのでは	1	0.2%					5-19	添付ファイルの容量拡大	1	0.2%	6-26	入札価格を間違えて応札した場合のやり直し機能がないものがあると大変有り難い	1	0.2%
2-20	関連システムを含めたシステムへの入りの統一化	3	0.6%	3-20	利用環境により性能に差がでる	1	0.2%					5-20	入札結果情報の早期提供を希望	1	0.2%	6-27	誤操作防止の強化	1	0.2%
2-21	反応が遅い	1	0.2%	3-21	利用時間が短い	1	0.2%					5-21	入札の途中経過がわかるようにしてほしい	1	0.2%	6-28	認証をUSBキーにしてほしい	1	0.2%
2-22	メモリー容量の少ないパソコンでは動きが遅くストレスを感じる	1	0.2%									5-22	認証の簡素化を希望	1	0.2%	6-29	検証機能等の充実	1	0.2%
2-23	最新OS等の更新に関する情報提供の充実	1	0.2%									5-23	発注者の場所により効果が異なる	1	0.2%	6-30	総合評価方式で過去実績がない業者が不平等とならないようにしてほしい	1	0.2%
2-24	チェック機能が、閲覧しないと応札できない機能を要望	1	0.2%									5-24	保留通知等の通知時間がかかりすぎ	1	0.2%	6-31	仕様書のデータ形式の統一を希望	1	0.2%
2-25	ヘルプデスクがつかまらない	1	0.2%									5-25	工事受注価格の下落が問題	1	0.2%	6-32	工事明細書等の数量提示に関する意見	1	0.2%
2-26	保存するデータ名が、すべて『savedoc』となっているため、毎回データ名を入力しないといけない	1	0.2%													6-33	タイムアウト時間の延長	1	0.2%
2-27	指名通知後直ちに閲覧可能にしてほしい	1	0.2%													6-34	関連システムを含めたシステムへの入りの統一化	1	0.2%
2-28	利用者登録の一元化	1	0.2%													6-35	企業IDの統一化	1	0.2%
2-29	入札結果明細(各社入札金額)が表示されない為不便	1	0.2%													6-36	ポータル化	1	0.2%
2-30	複数の案件を同時に閲覧できるようにしてほしい	1	0.2%													6-37	市町村のコリンズ登録の義務化の徹底	1	0.2%
2-31	フリーズやエラーが心配	1	0.2%													6-38	電子配布、電子閲覧(ダウンロードシステム)の不備による非効率	1	0.2%
2-32	PCのトラブル等が不安	1	0.2%													6-39	複数カードが利用できるようにしてほしい	1	0.2%
2-33	岡山県バージョン以外は用語が分かりにくい	1	0.2%													6-40	物品役務の入札説明書ダウンロード要望	1	0.2%
																6-41	電話で問い合わせたときは、親切に対応してほしい	1	0.2%
																6-42	内部の電子入札対応や機器等の維持管理費用が増えた	1	0.2%
																6-43	印刷による紙が非効率	1	0.2%
																6-44	経費削減が雇用に影響するようであれば問題	1	0.2%
																6-45	発注者とのコミュニケーション減少による情報の量減	1	0.2%
																6-46	セキュリティソフトとの相性が心配	1	0.2%
																6-47	地方部の町村は閑散として、衰退に拍車がかかっているように見える町が多い	1	0.2%
																6-48	どこでも入札できる仕組みにしてほしい	1	0.2%
																6-49	岡山県が独自のシステムなのであまり利用していません	1	0.2%
																6-50	合理化、エコとかは賛成ですが、昔のように共存共栄社会になってほしい	1	0.2%
																6-51	民間委託した方が、利用者の意見が反映されるのではないかと	1	0.2%
																6-52	JACICの管轄とは知らなかった	1	0.2%
																6-53	必要ない	1	0.2%

※設問1【電子入札で入札を行っている主な発注機関名をご記入下さい。(複数可)】については今回の集計に含めておりません。

電子入札コアシステム利用者意見への対応(受注者)

大項目	中項目	意見要望事項	件数	率	対応案	利用者会議時意見	
機能	機能等の追加や見直し	2-10、6-8	メールによる通知の強化等	10	2.1%	メール通知はメールソフトとの関係で正しく送信されない等の障害対応を事前に定めておく必要があるため、発注者のご判断により採用できる補助機能としています。	○
		2-8	画面遷移に対する意見	10	2.1%	応札者画面等は、GUIガイドラインによりコアシステムの標準を定め、発注機関毎に異なることを防止しています。画面等の大きな変更は、発注機関の対応時期の差によって新旧の方式が混在し、現在のものに慣れた応札者の混乱を招く恐れがあるため、慎重に対応する必要があります。このような混乱の生じない変更方法の可能性について検討してまいります。	○
		6-26	もう少し簡単にできないか	1	0.2%		
		2-4、6-18	画面や入力欄の見直し希望	20	4.2%		
		2-13、6-19	質問回答機能の充実を希望	6	1.3%	質問回答機能の強化・見直しは現在検討を行っているところです。	
		6-36	総合評価の手順書を整えて操作性を高めてほしい	1	0.2%	総合評価機能の充実については、発注機関からも要望があがっておりますので発注機関と相談の上、検討を行ってまいります。	○
		2-14	総合評価機能の充実	3	0.6%		
		6-49	調達案件一覧、入札案件一覧にて各案件の入札日表示して頂きたい。	1	0.2%		
		2-1、3-9、5-19、6-5	添付ファイルの容量拡大	42	8.9%	暗号化処理のためファイル容量は3Mbyteに制限しています。なお、コアシステムV5からは受注者側から暗号化の不要な大きな容量の技術資料を提出するためのオプションを設けています。	○
	6-51	入札価格を間違えて応札した場合のやり直し機能みたいなものがあると大変有り難い	1	0.2%	入札書の入札箱への投かん後に入札書を取り出すことはできないことと同じと考えコアシステムでもやり直しは行っていません。発注機関から法律や制度に合致した機能要求をいただく必要があります。	○	
	誤操作防止	6-31	誤操作防止の強化	1	0.2%	応札者側の画面等のユーザインタフェースの変更は、操作上の混乱を招く恐れがあるため、慎重に対応する必要があります。誤操作防止や操作性向上の可能性についても慎重に検討してまいります。	
	操作性	2-5、6-15	操作性の向上を希望	21	4.4%		
	認証	6-41	認証をUSBキーにしてほしい	1	0.2%	認証で利用するハードウェア等については、今後の技術動向や暗号の危殆化等の国における扱いを注視しつつ、時期を見て検討してまいります。	
	利便性向上	2-2	調達案件検索機能の充実	20	4.2%	受注者(入札参加者)からこれらの意見があることを発注機関にお伝えいたします。また、コアシステムで備えている機能の利用については各団体の意見や要望を基に機能の充実等を検討し、採用いただけるように努めてまいります。	
		2-12	印刷機能の充実	5	1.1%		
2-18、6-30		検証機能を活用してほしい	3	0.6%			
システム要件	Javaの利用に対する意見	2-16	Javaの接続がうまくいかない時がある	2	0.4%	Javaを利用しない方式については、発注機関からも要望があります。しかし、現行のシステム要件の大幅な変更となるため、大規模な改修が必要となりますので、今後も調査を実施し有効な方式を検討してまいります。	
		3-8	javaポリシー設定の登録発注機数が増えた場合のシステムの立ち上がり時間が心配 等	10	2.1%		
		3-19	専用ブラウザがあってもよいのでは	1	0.2%		
	システム要件の見直し	5-22	認証の簡素化を希望	1	0.2%	認証の簡素化はセキュリティレベルの低下を招く可能性があり、慎重に行う必要があります。引き続き調査・確認を行い最適な状態を検討してまいります。	
		2-11、6-13	認証・ICカードの利用に対する不満	8	1.7%	これまで紙で行っていた入札業務を電子化するにあたり、入札者の本人性を担保仕組みは必須となります。社印や代表者印、またその印鑑証明に代わるものとしてICカードによる認証や署名等が利用されていますのでご理解をお願いします。	
	新OSやブラウザ等への早急な対応	2-3、6-2、3-10	Windows7、IE8等への対応希望	34	7.2%	コアシステムを利用した電子入札システムにおける、新OSやブラウザ等環境対応については、コアシステムの対応、認証機関の対応、発注機関の対応、そして応札者の対応と4者が対応して初めて完了となります。これらの関係機関との調整や正会員との調整検討を行い早期に対応できるよう努めてまいります。なお、新OS(クライアント)の対応については、事前にベータ版等での確認を行っておりますが、最終的な確認は、正規の製品が販売されてからとなりますので、新製品の発売から時間を要することをご理解をお願いします。	

電子入札コアシステム利用者意見への対応(受注者)

大項目	中項目		意見要望事項	件数	率	対応案	利用者会議時意見
性能	性能に不満を感じている	3-7	サーバ接続時間が長い	10	2.1%	処理速度については、利用環境等やシステム構築に依存するところも多いため、原因を特定することは困難です。利用団体にも各団体のシステム環境の確認、見直し等をお願いするとともに、引き続きコアシステムの処理の確認や見直しを行い速度向上を検討を行ってまいります。	
		3-13	認証に時間がかかる	3	0.6%		
		2-22	メモリー容量の少ないパソコンでは動きが遅くストレスを感じる	1	0.2%		
		3-12	検索に時間がかかる	4	0.8%		
		2-6、3-1	処理が遅い	89	18.9%		
		6-7	速度向上を希望	5	1.1%		
		3-4	遅い	19	4.0%		
		3-5	通信時間が長い	17	3.6%		
		3-6	発注者によって速度が異なる	14	3.0%		○
		2-21、3-3	反応が遅い	21	4.4%		
		3-20	利用環境により性能に差がでる	1	0.2%		
	3-2	立ち上げに時間がかかる	34	7.2%			
費用	認証	5-13	認証局への要望(料金引下げ、期間の延長等)	2	0.4%	民間認証局の料金については、民間認証局で検討いただくこととなりますので、受注者(入札参加者)からこれらの要望があったことを民間認証局へお伝えします。	
サポート	情報提供の強化を希望	2-23、6-20	最新OS等の更新に関する情報提供の充実	3	0.6%	最新OS等への対応については、コアシステムが対応した後に各発注機関で確認を行う必要があり、発注機関によって対応時期が異なります。コアシステム側で各発注機関より先に新OS等への対応を公表した場合、受注者(入札参加者)の混乱を招くため、新OS等への対応の公表は各発注機関にお願いしております。	
運用	運用時間	4-2、5-18	24時間運用としてほしい	35	7.4%	運用時間については、各発注機関の運用方針により異なり、運用経費等の関係もあるため、各団体において検討いただく必要があります。受注者(入札参加者)から、これらの意見があることを発注機関にお伝えいたします。	○
		2-7、6-1	運用時間の見直し希望	30	6.4%		
		4-1、5-17	早朝や夜間の時間延長希望	65	13.8%		
		4-3	土日、祝日も運用してほしい	17	3.6%		
		3-21、4-4	利用時間が短い	10	2.1%		
	連携システム	2-30	複数の案件を同時に閲覧できるようにしてほしい	1	0.2%	電子閲覧やダウンロードシステムは各団体が用意しているシステムです。電子入札と合わせてダウンロードシステムによる、資料の電子的配布や閲覧を運用いただくことで、さらなる大きな効果につながるものと考えます。受注者(入札参加者)から、これらの意見があることを発注機関にお伝えいたします。	
		6-43	物品役務の入札説明書ダウンロード要望	1	0.2%		
		2-15	ダウンロードしたファイルが開けなかったり、読めなかったりする	3	0.6%		
	電子化の促進	3-14、5-1、5-11、6-4、6-38	電子配布、電子閲覧(ダウンロードシステム)の不備による非効率	35	7.4%	コアシステムは、現在多くの発注機関で利用されています。今後も引き続き電子入札の普及に努めてまいります。	
		6-6	効果が大きいので、未導入団体への更なる普及を望む	5	1.1%		
5-14		市町村まで普及しないと効果は少ない	1	0.2%			
発注者への要望	6-14、3-18	再入札の際に時間的余裕がほしい	4	0.8%	再入札の時間は、各発注機関の運用により異なりますので各発注機関において検討いただく必要があります。受注者(入札参加者)から、これらの意見があることを発注機関にお伝えいたします。		

電子入札コアシステム利用者意見への対応(受注者)

大項目	中項目		意見要望事項	件数	率	対応案	利用者会議時意見	
運用	電子化の促進	5-15	設計変更や見積合せの電子化希望	1	0.2%	今後の発注機関のシステム改良検討等の参考としていただくため、受注者(入札参加者)からこれらの意見があることを発注機関にお伝えいたします。		
		5-16	電子による質問回答の普及を希望	1	0.2%			
	電子化の不満	5-5	電子化による提出書類等の増加	5	1.1%			
	発注者への要望	6-42	複数カードが利用できるようにしてほしい	1	0.2%			
		6-37	タイムアウト時間の延長	1	0.2%			
		2-24	チェック機能か、閲覧しないと応札できない機能を要望	1	0.2%			
		2-25	ヘルプデスクがつかまらない	1	0.2%			
		2-26	保存するデータ名が、すべて『savedoc』となっているため、毎回データ名を入力しないとイケない	1	0.2%			
		4-5、6-23	運用上の時間的なルール(時間外にメールが届いたりしないように)も設けてほしい	3	0.6%			
		6-9	開札時の即時結果公開を希望	4	0.8%			
		3-16	開札時間をずらしてほしい	1	0.2%			
		6-46	工事明細書等の数量を可能な限り「1.0式」等でくらないよう数量を表示してほしい	1	0.2%			
		6-34	仕様書のデータ形式の統一を希望	1	0.2%			
		2-27	指名通知後直ちに閲覧可能にしてほしい	1	0.2%			
		3-17	総合評価の開札に時間がかかる	1	0.2%			
		5-24	保留通知等の通知時間がかかりすぎ	1	0.2%			
		6-24	総合評価方式で過去実績がない業者が不平等とならないようにしてほしい	1	0.2%			
		6-50	電話で問い合わせたときは、親切に対応してほしい	1	0.2%			
		5-20	入札結果情報の早期提供を希望	1	0.2%			
		電子化の促進	6-33	市町村のコリンズ登録の義務化の徹底	1		0.2%	電子入札の普及とともにコリンズテクリスの利用も推進してまいります。
	利便性向上	2-19	一画面ですべての発注期間を閲覧・ログインできるようなシステムにしてほしい	1	0.2%		電子入札システムの運用は各発注機関が行っており、各発注機関によってセキュリティの考え方や運用方針が異なるため、一元的に登録やログインすることは困難と考えられます。受注者(入札参加者)からこれらの意見があることを発注機関にお伝えいたします。	
		6-44	一元的に登録及び入札システムに入る手続きが行えればかなり手間が省ける	1	0.2%			
		2-28	利用者登録の一元化	1	0.2%			
		2-20、6-27	関連システムを含めたシステムへの入り口の統一化	4	0.8%		同一発注機関内のシステムの入り口の統一は、各発注機関の運用となりますので、受注者(入札参加者)からこれらの意見があることを発注機関にお伝えいたします。	
		2-9、6-11	発注者システムの統一化	15	3.2%		コアシステムは、現在多くの発注機関で利用されています。今後も引き続き電子入札の普及とともにコアシステムを採用いただけるよう努めてまいります。	○
		6-28	企業IDの統一化	1	0.2%		今後の検討の参考としていただくため、受注者(入札参加者)からこれらの意見があることを発注機関にお伝えいたします。	
		6-3	開札等の作業状況がわかるようにしてほしい	10	2.1%		今後の改良等の検討の参考としていただくため、受注者(入札参加者)からこれらの意見があることを発注機関にお伝えいたします。	
		5-21	入札の途中経過がわかるようにしてほしい	1	0.2%			
2-29		入札結果明細(各社入札金額)が表示されない為不便	1	0.2%				

電子入札コアシステム利用者意見への対応(受注者)

大項目	中項目		意見要望事項	件数	率	対応案	利用者会議時意見	
問題点等	非効率な点	5-4、6-25	印刷による紙が非効率	8	1.7%	電子入札をご利用いただく中で非効率な点として、受注者(入札参加者)からこれらの意見があることを発注機関にお伝えいたします。また、今後のコアシステムの検討の参考にさせていただきます。	○	
		2-17、5-9	環境設定やPCの設定等に手間	4	0.8%			
		5-3	機器購入費等が問題	12	2.5%			
		5-6	紙入札の併用が非効率	4	0.8%			
		3-15、4-6、5-2	時間的制約や職員の拘束	19	4.0%			
費用	電子化の不満	5-23	発注者の場所により効果が異なる	1	0.2%			
		5-12、6-40	内部の電子入札対応や機器等の維持管理費用が増えた	3	0.6%			
問題点等	不安心配要素	2-32、5-7、6-22	PCのトラブル等が不安	7	1.5%	電子入札に対する不安要素として、受注者(入札参加者)からこれらの意見があることを発注機関にお伝えいたします。また、今後のコアシステムの検討の参考にさせていただきます。		
		6-35	セキュリティソフトとの相性が心配	1	0.2%			
		5-8、6-32	発注者とのコミュニケーション減少による情報の量減	3	0.6%			
		2-31、3-11	フリーズやエラーが心配	5	1.1%			
		6-29	経費削減が雇用に影響するようであれば問題	1	0.2%			
		5-25	工事受注価格の下落が問題	1	0.2%			
		6-48	地方部の町村は閑散として、衰退に拍車がかかっているように見える町が多い	1	0.2%			
		5-10、6-21	電子入札担当が限定される(スキルや年齢等)	4	0.8%			
	その他		6-39	どこでも入札できる仕組みにしてほしい	1	0.2%	今後のコアシステムの検討の参考にさせていただきます。	
			6-45	岡山県が独自のシステムなのであまり利用していません	1	0.2%		
			2-33	岡山県バージョン以外は用語が分かりにくい	1	0.2%		
			6-47	合理化、エコとかは賛成ですが、昔のように共存共栄社会になってほしい	1	0.2%		
	その他	その他	6-17	より良いシステムを目指してほしい	3	0.6%	今後もより良いシステムを提供できるように努めてまいります	
6-12			事業仕分けや著作権に関する意見	4	0.8%			
6-16			有効なシステムなので存続するように勤めてほしい	3	0.6%			
6-52			民間委託した方が、利用者の意見が反映されるのではないか	1	0.2%	コアシステムの料金は、開発・調査・改良・保守・ユーザサポート等に必要費用を利用団体の皆様に適切に負担いただくことから設定されており、収益を目的とした一般的なソフトウェア料金とは異なります。		
6-53			JACICの管轄とは知らなかった	1	0.2%	JACICの活等を広く伝えられるように努めてまいります。		
6-54			必要ない	1	0.2%	意見の意図が不明のため回答できません。		

電子入札コアシステム利用者意見への対応(受注者)

大項目	中項目	意見要望事項	件数	率	対応案	利用者会議時意見
-----	-----	--------	----	---	-----	----------

**利用者会議でのみだされた意見(入札参加者)**

大項目	中項目	意見要望事項	件数	率	対応案	利用者会議時意見
利用者会議のみの意見	—	B-1 社交代時等に新しい認証カードへの切替までの2, 3 週間は紙入札になる。運用で回避できないか。	—	—	今後の検討の参考としていただくため、受注者(入札参加者)からこれらの意見があることを発注機関にお伝えいたします。	○
利用者会議のみの意見	—	B-2 代表者交替、住所変更などによって取得済みICカードが失効します。再取得までの間に発生する紙入札期間の解消をお願いしたい。または、運用で回避できるか、確認したい。	—	—	今後の検討の参考としていただくため、受注者(入札参加者)からこれらの意見があることを発注機関にお伝えいたします。	○
利用者会議のみの意見	—	B-3 参加表明書など添付して提出する書類に代表者名の押印を求められる。電子で提出の場合はICカードで本人確認が取れており、不要と思われる。現在、○○は不要、○○は要という運用になっており、軽減する方向で統一をお願いしたい。	—	—	今後の検討の参考としていただくため、受注者(入札参加者)からこれらの意見があることを発注機関にお伝えいたします。	○
利用者会議のみの意見	—	B-4 案件ごとの委任状ではなく、年間委任状での了解をお願いしたい。○○は年間委任状でOKであるが、○○などは認められていない。	—	—	今後の検討の参考としていただくため、受注者(入札参加者)からこれらの意見があることを発注機関にお伝えいたします。	○
利用者会議のみの意見	—	B-5 昨今の建設関連業では支店長の移動などが多いですが、その度にカードの更新が生じる。この更新に関して改善をお願いしたい。	—	—	今後の検討の参考としていただくため、受注者(入札参加者)からこれらの意見があることを発注機関にお伝えいたします。	○